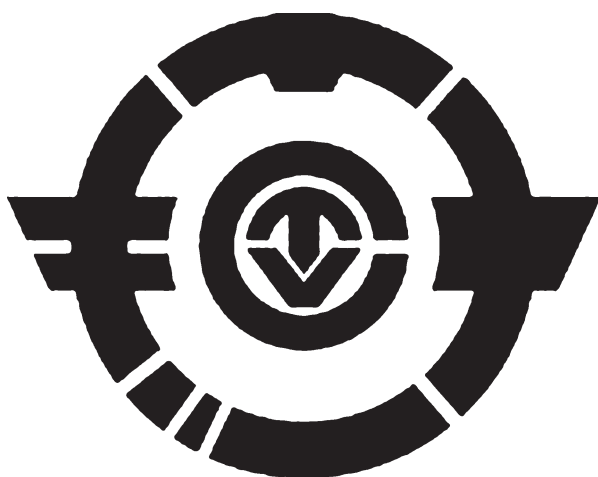


# 消防年報
















2016



稻敷広域消防本部



## ひと目でわかる消防統計

<p>面積 (28.4.1)</p>  <p>550.10Km<sup>2</sup> 構成 3市3町1村</p>	<p>人口 (28.4.1)</p>  <p>293,391人</p>	<p>世帯数 (28.4.1)</p>  <p>112,505世帯</p>
<p>署所数 (28.4.1)</p>  <p>消防本部 1 消防署 5 分署 2 出張所 2</p>	<p>職員数 (28.4.1)</p>  <p>定員 396人 実員 396人</p>	<p>119番通報(27年)</p>  <p>16,944件 (阿見町消防本部含む)</p>
<p>消防車 (28.4.1)</p>  <p>水槽付ポンプ車 12台 普通ポンプ車 9台</p>	<p>特殊車両 (28.4.1)</p>  <p>はしご車 3台 化学車 3台 救助工作車 3台 水槽車 1台</p>	<p>救急車 (28.4.1)</p>  <p>高規格救急車 14台 救急車 1台</p>
<p>火災発生件数(27年)</p>  <p>99件 (阿見町消防本部含む)</p>	<p>救急出場件数(27年)</p>  <p>12,676件 (阿見町消防本部含む)</p>	<p>救助出動件数(27年)</p>  <p>稲敷広域 167件 (阿見町消防本部含む)</p>
<p>防火対象物数 (28.4.1)</p>  <p>6,873棟</p>	<p>危険物施設数 (28.4.1)</p>  <p>製造所 19施設 貯蔵所 679施設 取扱所 299施設</p>	<p>民間防火組織数 (28.4.1)</p>  <p>幼年消防クラブ 18 少年消防クラブ 5 婦人消防クラブ 2</p>

# はじめに

稲敷地方広域市町村圏事務組合消防本部と阿見町消防本部は、平成 27 年 4 月に広域化し、新たに「稲敷広域消防本部」としてスタートしました。

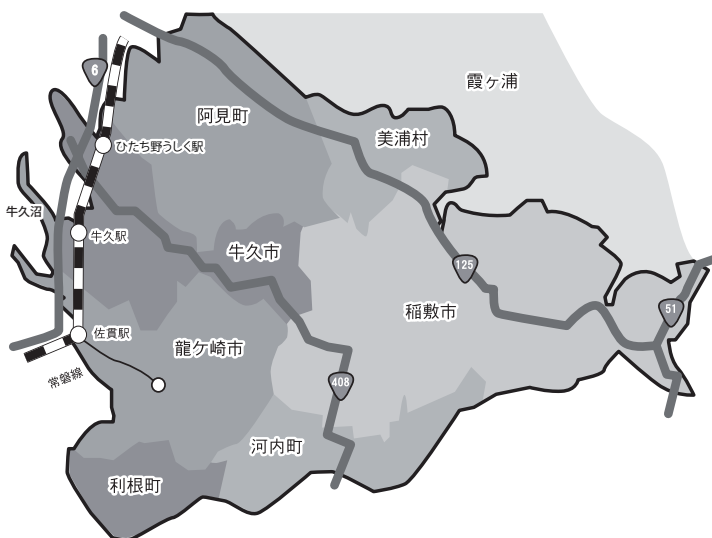
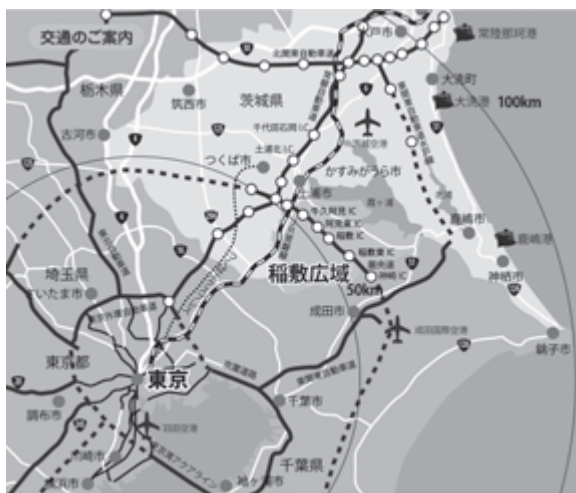
この年報は、平成 27 年中における消防業務に関する諸般の事項を集録し、消防事情を紹介するために編集しました。

また、本書における統計については、暦年を原則として作成したのですが、これらによらないものについては、それぞれ記載した年月日及び期間により作成しました。

平成 28 年 7 月

## 稲敷広域消防本部

### 圏域の位置



### 表紙説明

「組合章」で、円形はイナシキの円満団結を示し、中心にはC、T、V（市、町、村）を配し、左右の翼は、より一層の飛躍、発展を祈念しています。

# 目 次

---

平成 27 年度の主な行事・事業等	1
稲敷地方広域市町村圏の概要	3
稲敷広域消防の沿革	4
総務関係	
稲敷広域消防の組織	9
消防本部事務分掌	10
消防署事務分掌	12
消防本部・消防署所庁舎一覧表	13
消防職員配置状況	14
消防職員階級別勤続年数	15
消防職員階級別年齢	16
職員教育・研修実施状況	17
組合予算・相互応援協定状況	18
予防関係	
予防広報活動の紹介	19
民間防火組織の活動紹介	20
市町村別危険物施設状況	21
危険物製造所等許可状況	21
危険物規制事務等手数料	21
市町村別防火対象物現況	22
法届出状況	23
条例届出状況	24
中高層建築物	25
建築確認事務状況	26
民間防火組織一覧	27
警防関係	
消防機動力	28
消防車両等の配置状況	30
主な消防器具等	32
消防隊の主な訓練及び講習会等	33
総出場状況	36
所属別火災出場状況	37
救助事故種別出動件数及び活動件数	38
救助事故種別救助人員及び車両搬送人員	38
救助事故種別出動人員及び活動人員	38
救助事故種別発生場所別出動件数	39
救助事故種別発生場所別活動件数	39
救助事故種別発生場所別救助人員	39
救助事故種別出動車両台数	40
救助事故種別活動車両台数	40
救助隊員の訓練実施状況	40

圏域内市町村別消防水利施設設置状況	41
通信関係	
通信・指令の業務	42
119番通報電話機別の推移	43
通信系統	44
通信施設状況	45
119番着信件数・災害出場指令件数	46
無線局一覧表	47
緊急通報システム受信状況	51
気象警報注意報発令調	52
月別風速・気温・湿度・雨量調	53
火災関係	
火災原因調査	54
火災統計上の参考事項	55
火災概況	57
市町村別火災概要	58
月別火災種別	59
曜日別火災種別	59
時間帯別火災種別	59
火災種別出火原因	60
過去5年間の火災原因状況	61
過去10年間の火災件数推移	61
救急関係	
各種救急訓練・事例検討会の紹介	62
ドクターヘリ及びドクターカーの紹介	63
応急ボランティア指導員の紹介	64
稲敷地区メディカルコントロール協議会の紹介	64
市町村別救急出場状況	65
月別救急出場状況	65
事故種別年齢区分別搬送状況	66
事故種別傷病程度別搬送状況	66
救急隊員の行った応急処置件数調	67
市町村別救急発生状況推移	68
救急出場件数推移	69
救命講習実施状況	69
救急蘇生の状況	70
管内消防団関係	
管内消防団の状況	71

## 平成 27 年度の主な行事・事業等

### 4 月

- ◆ いなほ消防署開設
- ◆ 稲敷地方危険物安全協会総会
- ◆ 稲敷 MC 協議会総会



いなほ消防署

### 5 月

- ◆ 三組合水防訓練
- ◆ 人事評価研修
- ◆ 産業医巡視（阿見署）



三組合水防訓練

### 6 月

- ◆ 第 1 回消防運営委員会
- ◆ 茨城県消防救助技術大会
- ◆ J A とりで総合医療センター事例検討会
- ◆ プリセプター研修会
- ◆ 第 1 回予防研修会（査察）
- ◆ 霞ヶ浦地区水防訓練
- ◆ 産業医巡視（いなほ署）



茨城県消防救助技術大会

### 7 月

- ◆ 指揮隊訓練
- ◆ 第 1 回救急隊員研修会
- ◆ 救助全体訓練
- ◆ 消防職員委員会
- ◆ 社会福祉施設等における夜間防火管理体制研修会（実践的訓練）



指揮隊訓練

### 8 月

- ◆ 第 2 回予防研修会（違反処理）
- ◆ 職員健康診断
- ◆ 産業医巡視（消防本部）
- ◆ 潜水訓練（霞ヶ浦）
- ◆ J A とりで総合医療センター救急講演会



予防研修会

### 9 月

- ◆ J A とりで総合医療センター救急事例検討会
- ◆ 産業医巡視（龍ヶ崎署）
- ◆ 潜水訓練（利根川）
- ◆ 小規模社会福祉施設等における夜間防火管理体制研修会（火災図上演習）



夜間防火管理体制研修会

## 10月

- ◆ 第2回消防運営委員会
- ◆ 救助隊全体訓練
- ◆ 多数傷病者対応訓練
- ◆ 産業医巡視（牛久署）



多数傷病者対応訓練（図上）

## 11月

- ◆ 第2回救急隊員研修会
- ◆ 全国緊急消防援助隊合同訓練
- ◆ 人事評価研修
- ◆ 産業医巡視（阿見署）



全国緊急消防援助隊合同訓練

## 12月

- ◆ 第3回予防研修会（査察シミュレーション）
- ◆ JAとりで総合医療センター事例検討会
- ◆ BC災害対応訓練
- ◆ 北総ドクターヘリ事例検討会



予防研修会

## 1月

- ◆ 第2回救急事例検討会
- ◆ JAとりで総合医療センター事例検討会
- ◆ 救助隊全体訓練
- ◆ 産業医巡視（新河分署）



救急事例検討会

## 2月

- ◆ 職員健康診断
- ◆ 産業医健康講話
- ◆ 震災対応訓練
- ◆ 火災原因調査研修会



震災対応訓練

## 3月

- ◆ プリセプタープロジェクト会議
- ◆ JAとりで総合医療センター事例検討会
- ◆ 救助隊全体訓練



救助隊全体訓練

## 稲敷地方広域市町村圏の概要

本圏域は、都心より東へ50～70 km、茨城県の南端に位置し、JR常磐線沿いの龍ヶ崎市、牛久市と東に位置する稲敷市を中心に3市3町1村によって構成され、人口は、約29万3千人、総面積は、約550 km<sup>2</sup>に及んでいます。

圏域北部は、風光明媚な霞ヶ浦に面し、東南部は、釣りの名所である利根川、横利根川に境を接し、西部は、紫峰筑波山を北方に仰ぎ、小貝川、牛久沼で境をなしています。

圏域内総面積のうち、約65%が稲敷台地と呼ばれる標高25m前後の台地で、西部は、JR佐貫駅、JR牛久駅及びJRひたち野うしく駅を玄関口に首都圏のベッドタウンとして都市化の進展と人口が増加し住宅団地等の開発が盛んであるなか、圏域から東部においては、県内有数の穀倉地帯として整備の進んだ水田が広がる一方、首都圏中央連絡自動車道等の開通に伴い、各地に工業団地の開発が行われ、農業中心に経緯してきた様相にも、変化が著しい状況にあります。

こうしたなかで、当組合消防本部は、圏域29万余の住民のため、安全で安心な街づくりに、防災の担い手として努力しております。

## 構成市町村面積・人口・世帯数

平成28年4月1日現在

市町村別	面積 (k m <sup>2</sup> )	人口 (人)	世帯数 (戸)
龍ヶ崎市	78.50	78,094	30,595
牛久市	58.90	84,489	33,484
稲敷市	205.80	42,446	14,502
阿見町	71.40	47,438	18,892
利根町	24.90	16,158	6,135
河内町	44.00	9,044	2,940
美浦村	66.60	15,722	5,957
合計	550.10	293,391	112,505

(人口・世帯数は茨城県企画部統計課調)



# 稲敷広域消防の沿革

龍ヶ崎市、牛久町、江戸崎町、利根町、東村、河内村、新利根村、美浦村、桜川村の9ヶ市町村は、昭和47年8月15日の広域市町村整備配置要綱により広域市町村圏の指定を受けたので、同要綱に基づいて総合計画を策定し、昭和48年12月17日、茨城県知事より稲敷地方広域市町村圏事務組合の設立を条件付きで許可された。しかし、消防の特殊性を鑑み昭和49年6月10日消防条項を規約に組入れ昭和50年4月1日、消防本部を発足する。

- 昭和50年 4月1日 1市3町5村をもって稲敷地方広域市町村圏事務組合消防本部を発足し、既設の龍ヶ崎消防署を核として業務を開始する。消防職員37名増員 職員数97名となる。初代消防長 岡田昭守 就任。
- 7月1日 江戸崎消防署並びに牛久消防署を開設し、3署とする。
- 10月1日 消防職員1名増員、職員数98名となる。
- 昭和51年 4月1日 消防職員25名増員、職員数123名となる。
- 4月2日 先に開設した牛久消防署庁舎、鉄筋コンクリート一部2階建、延面積 441.50㎡が完成し移転する。
- 7月1日 江戸崎消防署東出張所を開設し、3署1出張所とする。  
消防職員1名増員 職員数124名となる。
- 8月10日 消防長 宮本 衛 となる。
- 12月17日 先に開設した江戸崎消防署庁舎、鉄筋コンクリート一部2階建、延面積 458.55㎡が完成し移転する。
- 昭和52年 4月1日 消防職員35名増員、職員数158名となる。
- 7月1日 龍ヶ崎消防署利根出張所を開設し、3署2出張所とする。
- 12月6日 先に開設した江戸崎消防署東出張所庁舎、鉄筋コンクリート平屋建、延面積 290.00㎡が完成し移転する。
- 昭和53年 1月20日 江戸崎消防署美浦出張所を開設、庁舎鉄筋コンクリート平屋建、延面積 363.84㎡、3署3出張所とする。
- 4月1日 消防職員20名増員、職員数178名となる。
- 7月1日 龍ヶ崎消防署新利根出張所及び江戸崎消防署桜川出張所を開設し、3署5出張所とする。消防職員7名増員、職員数185名となる。
- 昭和54年 1月1日 消防職員1名増員、職員数186名となる。
- 1月25日 先に開設した龍ヶ崎消防署利根出張所庁舎、鉄筋コンクリート平屋建、延面積 284.08㎡が完成し移転する。
- 4月1日 消防職員17名増員、職員数203名となる。
- 7月1日 龍ヶ崎消防署河内出張所を開設し、3署6出張所とする。
- 昭和55年 1月1日 消防職員2名増員、職員数205名となる。
- 2月13日 先に開設した江戸崎消防署桜川出張所庁舎、鉄筋コンクリート平屋建、延面積 289.53㎡が完成し移転する。

	2月29日	先に開設した龍ヶ崎消防署新利根出張所庁舎，鉄筋コンクリート平屋建，延面積 291.91 m <sup>2</sup> が完成し移転する。
昭和 56 年	3月2日	先に開設した龍ヶ崎消防署河内出張所庁舎，鉄筋コンクリート平屋建，延面積 305.50 m <sup>2</sup> が完成し移転する。
	3月27日	消防本部庁舎，鉄筋コンクリート3階建，延面積 997.71 m <sup>2</sup> が完成し移転する。
	10月1日	消防長 仲山 徹となる。
	12月15日	牛久消防署庁舎増築，車庫，仮眠室 104.00 m <sup>2</sup> が完成する。
昭和 57 年	4月1日	消防職員8名増員 職員数 205 名となる。
昭和 58 年	3月14日	龍ヶ崎消防署河内出張所に救助訓練塔 A，B，C 塔が完成する。
	10月1日	消防長事務取扱 宮本 衛となる。
昭和 59 年	3月30日	茨城県防災行政無線が消防本部に設置される。
	8月15日	消防長事務取扱 岡田昭守となる。
昭和 60 年	3月1日	救急指令装置，地図検索装置を設置，通信指令室を開設する。
	4月1日	消防本部の組織規則の一部を改正し消防本部の機構を3課10係とする。
昭和 61 年	6月1日	牛久町が市制を施行し牛久市となり，構成市町村は2市2町5村となる。
昭和 62 年	4月1日	消防職員27名増員 職員数225名となる。龍ヶ崎消防署利根出張所を利根消防署として開設し，職員数17名を配置する。龍ヶ崎消防署西部出張所を開設し，職員数11名を配置する。牛久消防署西部出張所を開設し，職員数11名を配置する。
昭和 63 年	1月31日	利根消防署署長室，車庫 65.2 m <sup>2</sup> を増築する。
平成 3 年	4月1日	消防職員18名増員 職員数235名となる。
	12月12日	通信指令装置及び車両に消防用無線全国共通波を整備する。
平成 4 年	4月1日	消防職員14名増員 職員数248名となる。
	5月30日	消防長事務取扱 内藤謙吉となる。
	8月6日	消防長事務取扱 海老原龍生となる。
平成 5 年	4月1日	消防長 海老原淳二となる。
平成 6 年	4月1日	消防職員13名増員 職員数259名となる。
平成 7 年	4月1日	消防本部の組織規則を一部改正し，本部の機構を5課13係とする。また，消防署の組織規程を全部改正する。消防職員15名増員 職員数273名となる。
	9月5日	消火隊3隊を含む計6隊を緊急消防援助隊として登録する。
	10月6日	消防本部20周年記念式典開催
平成 8 年	4月1日	消防職員16名増員 職員数287名となる。
	6月1日	河内村及び新利根村が町制を施行し河内町，新利根町となり，構成市町村は，2市4町3村となる。
	9月1日	東村が町制を施行し東町となり，構成市町村は，2市5町2村となる。
平成 9 年	4月1日	消防職員16名増員 職員数299名となる。
平成 10 年	4月1日	消防職員11名増員 職員数309名となる。
平成 11 年	3月23日	江戸崎消防署庁舎増築 2階建 406.07 m <sup>2</sup> が完成する。
	4月1日	消防長 松本育之となる。消防職員12名増員 職員数318名となる。

平成 12 年	4 月 1 日	消防職員 6 名増員 職員数 3 2 1 名となる。
平成 13 年	4 月 1 日	消防長 関口忠夫となる。消防職員 7 名増員 職員数 3 2 2 名となる。
平成 14 年	4 月 1 日	消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を 4 課 1 1 係とする。消防職員 2 名増員 職員数 3 2 0 名となる。
平成 15 年	4 月 1 日	消防長 酒井保之となる。
平成 16 年	4 月 1 日	消防長 長田保一となる。消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を 5 課 1 0 係とする。消防署の組織に関する規程の一部を改正し、消防署の機構を 3 課とする。消防職員 4 名増員 職員数 3 1 7 名となる。
平成 17 年	3 月 22 日	江戸崎町, 東町, 新利根町, 桜川村の 4 町村合併により稲敷市誕生。
	4 月 1 日	消防職員 5 名増員 職員数 3 2 2 名となる。
	7 月 1 日	消防署の組織に関する規程の一部を改正し、消防署の機構を 4 課とする。
平成 18 年	3 月 15 日	龍ヶ崎消防署新庁舎, 鉄骨造 2 階建, 延面積 1967.64 m <sup>2</sup> が完成し移転する。消防本部通信指令課に高機能通信指令装置が更新となる。
	4 月 1 日	消防長 川崎榮一となる。
平成 20 年	4 月 1 日	消防長 仲山松男となる。 消防職員 1 1 名増員 職員数 3 2 2 名となる。
平成 21 年	4 月 1 日	牛久消防署東部出張所新庁舎を開設 鉄骨平屋建て, 延床面積 575.0 m <sup>2</sup> , 職員 1 6 名を配置した。同西部出張所を閉庁する。 消防長 川井 寛となる。 消防職員 11 名を採用 職員数 327 名となる。
平成 22 年	4 月 1 日	消防長 本谷正一となる。 消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を 5 課 1 1 係とする。 消防職員 8 名を採用 職員数 329 名となる。 江戸崎消防署桜東分署を開設 鉄骨平屋建て, 延床面積 650.5 m <sup>2</sup> , 職員 25 名を配置する。 江戸崎消防署東出張所, 同桜川出張所を閉庁する。
	7 月 1 日	高度救助隊 (スーパーレスキュー稲敷) 発足, 隊員 14 名を龍ヶ崎消防署に配置する。
平成 23 年	1 月 13 日	牛久消防署庁舎増築, 仮眠室 266.69 m <sup>2</sup> が完成する。
	4 月 1 日	消防職員 9 名を採用 職員数 332 名となる。
平成 24 年	4 月 1 日	消防職員 11 名を採用 職員数 333 名となる。 龍ヶ崎消防署新河分署を開設 鉄骨 2 階建て, 延床面積 719.79 m <sup>2</sup> , 職員 25 名を配置する。 龍ヶ崎消防署河内出張所, 江戸崎消防署新利根出張所を閉庁する。
平成 25 年	4 月 1 日	消防長 酒井健生となる。 消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を 5 課 12 係とする。 消防職員 14 名を採用 職員数 334 名となる。
平成 26 年	4 月 1 日	消防職員 16 名を採用 職員数 331 名となる。

- 平成 27 年 4 月 1 日 阿見町消防本部との広域化を実施。消防本部の名称を稲敷広域消防本部とする。  
消防長 石塚伸也となる。  
消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を 5 課 1 隊 13 係とする。  
消防職員 19 名を採用 職員数 394 名となる。  
いなほ消防署（鉄骨造 2 階建て、延床面積 1868.26 m<sup>2</sup>）を開設し、江戸崎消防署、同美浦出張所を閉庁する。
- 平成 28 年 4 月 1 日 消防職員 15 名を採用 職員数 401 名となる。

## 平成 27 年度更新車両等

「水槽付消防ポンプ自動車」



配置先：龍ヶ崎消防署新河分署  
主な装備：圧縮空気泡消火装置  
2,000 L 水槽  
空気呼吸器  
熱画像装置  
電動油圧救助器具

「高規格救急自動車」



配置先：いなほ消防署  
主な装備：酸素呼吸器  
人工呼吸器  
自動体外除細動器  
観察用モニター  
血糖測定器

「指揮車」



配置先：龍ヶ崎消防署  
主な装備：バルーンライト (LED)  
ACコンセント (車内外)  
デジタル風速計  
発電機

「救助ボート」



配置先：牛久消防署  
主な仕様：最大搭乗人員 5 名  
FRP製一体型  
サイドフロート付き



# 総務

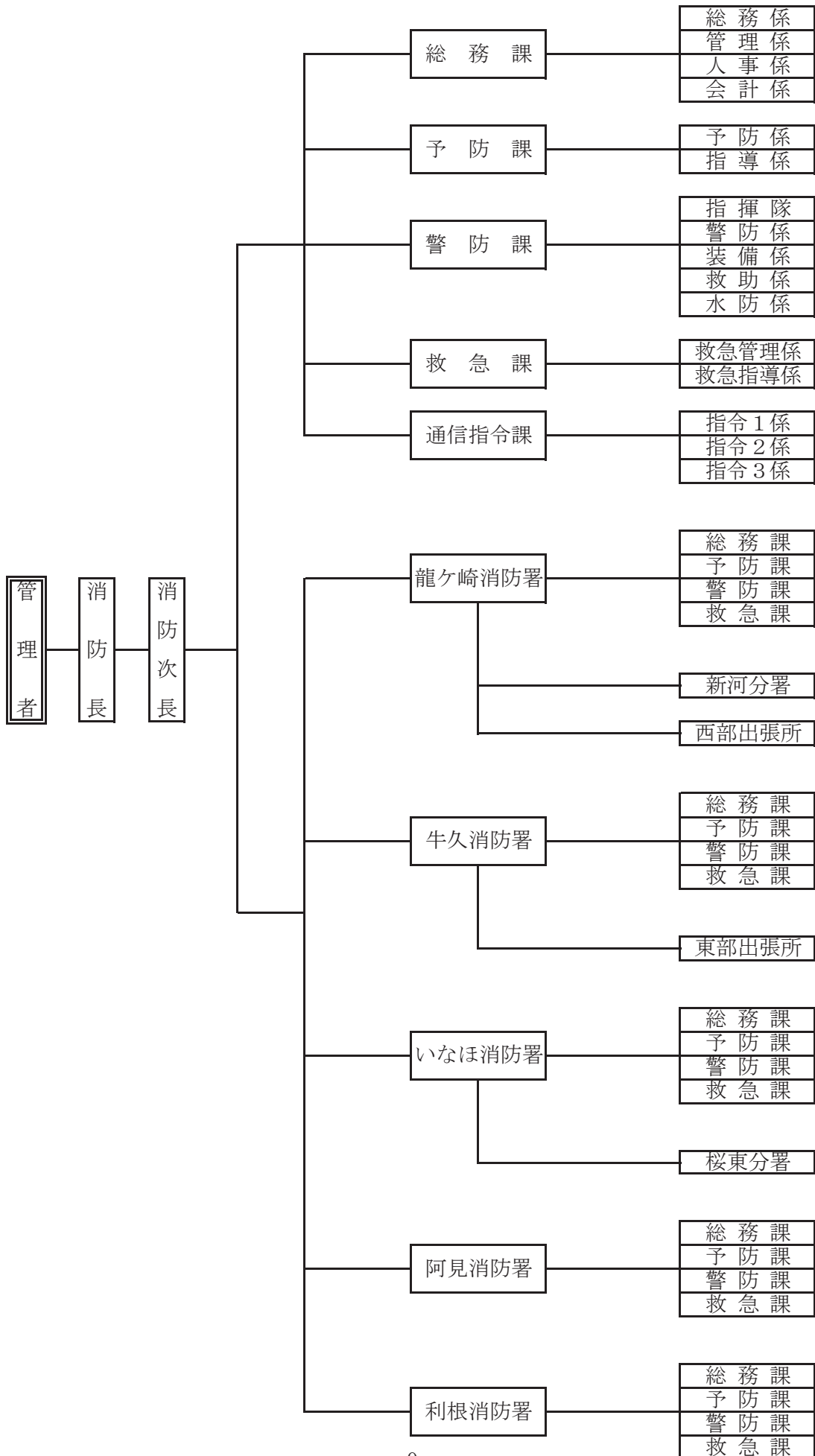


● 産業医健康講話





# 稲敷広域消防の組織



# 消防本部事務分掌

## 総務課

- (1) 公印の管守に関する事。
- (2) 文書に関する事。
- (3) 職員の昇任，昇格に関する事。
- (4) 消防関係例規に関する事。
- (5) 消防施設の整備及び管理に関する事。
- (6) 職員の健康管理及び福利厚生に関する事。
- (7) 職員の任免，配置，服務，分限，懲戒，表彰その他人事に関する事。
- (8) 職員の給与，公務災害補償及び補償補填に関する事。
- (9) 研修計画及び管外消防との情報連絡に関する事。
- (10) 貸与品及び消耗品等に関する事。
- (11) 予算，決算及び経理に関する事。
- (12) 消防事務の企画及び事務管理に関する事。
- (13) 消防用財産の管理に関する事。
- (14) 組織及び制度に関する事。
- (15) 統計に関する事。
- (16) 他の課に属さない事。

## 予防課

- (1) 火災の予防に関する事。
- (2) 民間防火組織等の育成及び防火思想の普及に関する事。
- (3) 予防査察及び指導に関する事。
- (4) 広報及び広聴に関する事。
- (5) 罹災証明等に関する事。
- (6) 統計に関する事。
- (7) 防火管理者及び危険物取扱者に関する事。
- (8) 火災原因及び損害の調査に関する事。
- (9) 建築確認等の同意に関する事。
- (10) 消防用設備等の検査及び指導に関する事。
- (11) 消防対象物（危険物製造所等を除く）の使用の届出等に関する事。
- (12) 火災予防条例に基づく届出等に関する事。
- (13) 火気使用設備及び器具に関する事。
- (14) 危険物製造所等の許認可に関する事。
- (15) 危険物製造所等の火災予防措置に関する事。
- (16) 少量危険物，指定可燃物等の火災予防措置に関する事。
- (17) 液化石油ガス貯蔵取扱施設の保安上の措置に関する事。
- (18) 圧縮アセチレンガス等の届出に関する事。
- (19) 防火協力団体に関する事。

## 警防課

- (1) 災害現場活動の指揮に関する事。
- (2) 出場隊の運用・安全管理に関する事。

- (3) 災害情報の収集・管理に関すること。
- (4) 現場の観察及び効果並びに評価に関すること。
- (5) 警防計画及び演習，訓練に関すること。
- (6) 核燃料物質及び放射性同位元素，劇物，毒薬等の貯蔵取扱の届出に関すること。
- (7) 消防の相互応援に関すること。
- (8) 水火災その他災害出動及び連絡調整並びにこれらによる被害調査等に関すること。
- (9) 消防技術の研究及び指導に関すること。
- (10) 消防の教養，訓練等に関すること。
- (11) 地理水利の調査及び保守に関すること。
- (12) 都市計画等の消防施設設置に関すること。
- (13) 車両の安全運転管理及び交通事故に関すること。
- (14) 消防機械器具の整備及び管理に関すること。
- (15) 消防油脂類，消火薬剤及び消防用資器材の管理等に関すること。
- (16) 救助及び潜水業務に関すること。
- (17) 統計に関すること。
- (18) 水防事務に関すること。

## 救急課

- (1) 救急業務に係る調査及び研究に関すること。
- (2) 救急資器材，医薬品等の整備及び管理に関すること。
- (3) 救急車両の配備，維持管理等に関すること。
- (4) 救急活動技術の研究及び指導訓練に関すること。
- (5) 医療機関その他関係機関との連絡調整に関すること。
- (6) 感染防止に関すること。
- (7) ドクターヘリ等運用に関すること。
- (8) 茨城 DMAT 運用に関すること。
- (9) 救急要請受付時の口頭指導に関すること。
- (10) 患者等搬送事業に関する指導及び認定に関すること。
- (11) 応急手当普及業務に関すること。
- (12) 稲敷地区メディカルコントロール協議会に関すること。
- (13) 救急統計に関すること。
- (14) その他救急業務に関すること。

## 通信指令課

- (1) 消防緊急システムの企画，調整及び運営管理に関すること。
- (2) 通信技術の研究及び指導に関すること。
- (3) 出動指令に関すること。
- (4) 通信統制に関すること。
- (5) 各種災害関係情報の収集及び伝達に関すること。
- (6) 消防及び救急の相互応援指令に関すること。
- (7) 防災行政無線に関すること。
- (8) 緊急通報システムに関すること。
- (9) その他通信指令事務に関すること。

# 消防署事務分掌

## 総務課

- (1) 公印の管守に関する事。
- (2) 文書に関する事。
- (3) 職員の研修及び訓練に関する事。
- (4) 職員の福利厚生及び健康管理に関する事。
- (5) 職員の服務、規律、願及び届に関する事。
- (6) 経理に関する事。

## 予防課

- (1) 火災予防思想の普及に関する事。
- (2) 予防査察及び指導に関する事。
- (3) 建築確認等の同意及び消防用設備等の検査に関する事。
- (4) 危険物、少量危険物、指定可燃物等の規制及び当該施設の査察に関する事。
- (5) 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- (6) 火災の統計及び報告に関する事。
- (7) 防火管理者、消防設備士及び危険物取扱者に関する事。
- (8) 消防諸証明に関する事。
- (9) 防火協力団体に関する事。

## 警防課

- (1) 火災その他の災害の警戒及び防ぎょ活動(以下「消防活動」という。)に関する事。
- (2) 警防活動技術等の研修及び訓練に関する事。
- (3) 消防活動上支障となる物質等の調査及び防災指導に関する事。
- (4) 救急活動との連携に関する事。
- (5) 地理及び水利の調査に関する事。
- (6) 消防車両、機械器具、装備、資材等の点検整備及び保全に関する事。
- (7) 救助活動に関する事。
- (8) 救助技術の研修及び訓練に関する事。
- (9) 救助統計に関する事。
- (10) 消防団との連携に関する事。
- (11) 他の関係機関との連絡調整に関する事。

## 救急課

- (1) 救急活動に関する事。
- (2) 救急技術等の研修及び訓練に関する事。
- (3) 警防活動との連携に関する事。
- (4) 救急統計に関する事。
- (5) 医療機関その他関係機関との連絡調整に関する事。
- (6) 救急車両、資機材、医薬品等の点検管理に関する事。

消防本部・消防署所庁舎一覧表

区分 名称	所在地	建物構造	建物面積	竣工年月日
消防本部	龍ヶ崎市 3,571番地の1	鉄筋コンクリート造 3階建	庁舎 970.21 m <sup>2</sup> 倉庫 67.16 m <sup>2</sup>	昭和56年3月27日 平成19年2月増築
龍ヶ崎消防署	龍ヶ崎市 1,759番地	鉄骨造 2階建	庁舎 1,967.64 m <sup>2</sup>	平成18年3月15日
牛久消防署	牛久市栄町 4丁目1番地	鉄筋コンクリート造 2階建	庁舎 812.19 m <sup>2</sup> ポンプ室 8.25 m <sup>2</sup> 油庫 6.51 m <sup>2</sup>	昭和51年4月2日 昭和56年12月増築 平成23年1月増築
いなほ消防署	稲敷市犬塚 1,570番地2	鉄骨造 2階建	庁舎 1868.26 m <sup>2</sup> 防災倉庫 350.00 m <sup>2</sup> 訓練塔(5階建) 180.00 m <sup>2</sup>	平成27年3月30日
阿見消防署	阿見町若栗 3,337番地	鉄筋コンクリート造 2階建	庁舎 1358.83 m <sup>2</sup>	昭和58年7月10日
利根消防署	利根町布川 2,073番地	鉄筋コンクリート造 平家建	庁舎 303.40 m <sup>2</sup> 車庫 40.00 m <sup>2</sup> 倉庫 29.43 m <sup>2</sup>	昭和54年1月25日 昭和63年1月増築 平成10年3月増築
龍ヶ崎消防署 新河分署	河内町長竿 5,765番	鉄骨造 2階建	庁舎 719.79 m <sup>2</sup> 倉庫 138.00 m <sup>2</sup>	平成24年3月24日
いなほ消防署 桜東分署	稲敷市上須田 355番1	鉄骨造 平家建	庁舎 650.50 m <sup>2</sup> 倉庫 100.00 m <sup>2</sup>	平成22年2月11日
龍ヶ崎消防署 西部出張所	龍ヶ崎市馴柴町 1区23番地の2	鉄筋コンクリート造 平家建	庁舎 319.75 m <sup>2</sup>	昭和62年3月12日
牛久消防署 東部出張所	牛久市久野町 798番地1	鉄骨造 平家建	庁舎 575.00 m <sup>2</sup>	平成21年3月29日

## 消 防 職 員 配 置 状 況

平成28年4月1日現在

階級 所属		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	計
		消 防 本 部	消 防 長	1							
	消 防 次 長		1								1
	総 務 課		※ 1	2	1	3				1	8
	予 防 課			1	1	3	2				7
	警 防 課			4	7	3					14
	救 急 課		1	1	1	1					4
	通 信 指 令 課		1	1	7	6	1				16
	小 計	1	4	7	18	14	6			1	51
龍ヶ崎消防署			1	4	12	8	12	12	14		63
	新河分署			1	4	4	5	5	6		25
	西部出張所				3	5	4	5	3		20
	小 計		1	5	19	17	21	22	23		108
牛久消防署			1	2	13	8	12	12	13		61
	東部出張所			1	2	4	4	5	4		20
	小 計		1	3	15	12	16	17	17		81
いなほ消防署			1	2	11	7	10	11	11		53
	桜東分署			2	4	4	5	5	5		25
	小 計		1	4	15	11	15	16	16		78
阿見消防署			※ 1	2	12	6	10	10	10		51
利根消防署			1	1	7	3	5	4	6		27
合 計		1	9	22	86	63	73	69	72	1	396

※ 消防次長を兼務

## 消 防 職 員 階 級 別 勤 続 年 数

平成28年4月1日現在

階級 勤続年数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	計
1 年未満								15		15
1 年以上								19		19
2 "								16		16
3 "							3	13		16
4 "							6	6		12
5 "							5	3		8
6 "							10			10
7 "							12			12
8 "						3	12			15
9 "						1	3			4
10 "						1				1
11 "						6				6
12 "						2	2			4
13 "										
14 "						1	1			2
15 "					1	5	1			7
16 "						3				3
17 "					1	8	1			10
18 "					1	8	4			13
19 "					5	11	2			18
20 "				1	12	3				16
21 "					5	5	2			12
22 "					8	6	1			15
23 "					1					1
24 "				3	4	5	2			14
25 "				3	7	5	2			17
26 "				1						1
27 "										
28 "										
29 "				17	10					27
30 "										
31 "										
32 "				4						4
33 "										
34 "			2	3	1					6
35 "		1	1	15						17
36 "										
37 "		1	2	8	2					13
38 "			4	7						11
39 "		2	4	8	3				1	18
40 "		2	2	7	2					13
41 "	1	3	7	9						20
計	1	9	22	86	63	73	69	72	1	396
平均勤続年数	41.0	39.2	38.7	34.5	24.7	17.8	9.7	1.8	39.0	20.0

## 消 防 職 員 階 級 別 年 齢

平成28年4月1日現在

階級 年齢	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	計
	18 歳								5	
19 歳								5		5
20 歳								12		12
21 歳								4		4
22 歳								7		7
23 歳							1	9		10
24 歳							1	7		8
25 歳							5	10		15
26 歳							6	7		13
27 歳							4	4		8
28 歳							8	2		10
29 歳							8			8
30 歳						3	2			5
31 歳						1	5			6
32 歳							8			8
33 歳						3	2			5
34 歳						3	1			4
35 歳						7	1			8
36 歳						5	1			6
37 歳					2	5	3			10
38 歳					4	7	3			14
39 歳					5	7	4			16
40 歳					7	12				19
41 歳					3	3	1			7
42 歳				2	9	7				18
43 歳					2	4	4			10
44 歳					5	2				7
45 歳				2	5	1	1			9
46 歳				1	1	2				4
47 歳				7	7					14
48 歳				3	3					6
49 歳				3						3
50 歳				4		1				5
51 歳				3	1					4
52 歳				3						3
53 歳				6						6
54 歳				2	2					4
55 歳		1		6	1					8
56 歳			7	9	1					17
57 歳		2	4	11	3				1	21
58 歳		2	4	10	2					18
59 歳	1	4	7	14						26
60 歳										
計	1	9	22	86	63	73	69	72	1	396
平均年齢	59.0	57.9	57.5	54.0	44.6	38.6	31.5	22.7	57.0	40.3



# 職員教育・研修実施状況

平成27年4月1日～平成28年3月31日

機 関	区 分	消防士	消 防 副 士 長	消 防 士 長	消 防 司 令 補	消 防 司 令	司 令 長 以 上	合 計
消防大学校	幹部科					1		1
	救急科				1			1
	予防科				1			1
	救助科			1				1
	高度救助コース				1			1
	NBC コース				1			1
茨城県立 消防学校	初任科	19						19
	特殊災害科			1	1			2
	火災調査科			3				3
	警防科			2				2
	救急科	13						13
	救助科		3					3
	水難救助課程		2					2
	ポンプ操法指導者研修会			2				2
	救急救命士新2 処置追加講習				9	4		13
気管挿管再講習		1	3	5	1		10	
救急救命 研 修 所	救急救命士		2					2
	救急救命士新2 処置追加講習		1	3				4
その他 機 関	MCLS 講習			4	7	4	2	17
	ACLS 講習			1				1
	BLS 講習	1	2	2				5
	PEARS 講習		1		1			2
	ロープレスキュー技能		2					2
	スイフトウォーターレスキュー				2			2
	小型移動式クレーン運転技能	1	2	1				4
	玉掛技能	1	2	1				4
	放射線事故初動セミナー		1	1				2
	小型船舶免許		1	2	1			4
	車両系建設機械運転技能			1	1			2
	チェーンソー		3	1	1			5
	酸素欠乏危険作業主任者		1	3		1		5
	衛生管理者受験講習				1	1		2
	消防職員安全衛生研修		2	4				6
	惨事ストレス中級研修					1		1
	救援者のメンタルヘルス研修会				3	1		4
メンタルヘルスマネジメント実践研修会				1	1		2	
組合共同 研 修	新採職員研修	19						19
	現任課長研修						1	1
	法制執務研修			1	1	2		4
	政策法務研修			1	1	2		4
	窓口サービス向上研修	2	1					3

## 組 合 予 算

### 1 平成 28 年度稲敷地方広域市町村圏事務組合当初予算額

(単位：千円)

歳 入	%	歳 出	%
分賦金及び負担金	3,778,176	議 会 費	3,530
使用料及び手数料	7,722	総 務 費	65,075
国庫支出金	32,827	消 防 費	3,824,466
県 支 出 金	6,500	公 債 費	210,909
財 産 収 入	49	予 備 費	900
寄 付 金	1		
繰 入 金	58,000		
繰 越 金	24,300		
諸 収 入	2,905		
組 合 債	194,400		
<b>合 計</b>	<b>4,104,880</b>	<b>合 計</b>	<b>4,104,880</b>
	<b>100</b>		<b>100</b>

### 2 人口・世帯当りの消防費

区 分	消 防 予 算 (千円)	一 人 当 り の 消 防 費 (円)	一 世 帯 当 り の 消 防 費 (円)	備 考	
				人 口	世 帯
平成 24 年度	3,181,383	12,629	34,216	251,920	92,980
平成 25 年度	3,207,076	12,796	34,153	250,630	93,904
平成 26 年度	4,541,841	18,223	47,900	249,241	94,819
平成 27 年度	3,633,300	12,271	31,687	296,097	114,661
平成 28 年度	3,824,466	13,035	33,994	293,391	112,505

### 相 互 応 援 協 定 状 況

締 結 先		締 結 年 月 日
茨 城 県	取 手 市 消 防 本 部	昭 和 5 7 年 7 月 6 日
	つ く ば 市 消 防 本 部	昭 和 5 8 年 9 月 2 6 日
	茨 城 県 広 域	平 成 元 年 4 月 1 日
	茨 城 県 高 速 自 動 車 道 等 関 係 消 防 本 部	平 成 1 9 年 3 月 1 0 日
千 葉 県	香 取 広 域 市 町 村 圏 事 務 組 合 消 防 本 部	昭 和 5 6 年 1 1 月 1 日
	我 孫 子 市 消 防 本 部	昭 和 5 7 年 1 月 1 日
	栄 町 消 防 本 部	平 成 1 8 年 3 月 6 日
	成 田 市 消 防 本 部	平 成 2 1 年 1 0 月 3 0 日

# 予 防



● 予防研修会（査察シミュレーション）



## 予防広報活動の紹介

予防課では、住民の生命や財産を火災や自然災害から守る為、店舗や病院、事業所への防火査察、避難訓練指導などの業務のほか、以下のような取組みを行い、火災による死傷者の低減、住宅火災の減少に努めています。

### 【小規模社会福祉施設等における夜間防火管理体制研修会(火災図上演習:Fire Imagination Game)】



稲敷広域消防本部では、平成 27 年 9 月、10 月に各消防署において小規模社会福祉施設職員を対象とし、各々の施設に最も適した実行マニュアルの策定を目標に火災図上演習（FIG）研修会を開催いたしました。

今回の火災図上演習（FIG）研修会では、訓練計画の立案「Plan」、訓練の実施「Do」、訓練の反省「Check」、課題の改善「Action」の避難訓練の理想サイクル（PDCA サイクル）を学び、主に訓練計画の立案「Plan」を実習しました。

実習は数人の班に分かれ、図面を基に「私だったらこうする！」等の意見を出し合い、班としての訓練計画を立てました。実習後の意見交換でもいろいろな意見・質疑がだされ、防火安全対策に対する意識の高さを実感しました。この研修会で学んだことを各施設の訓練に反映させていただきたいと思えます。

稲敷広域消防本部は、今後も社会福祉施設の関係者と共に防火安全対策に取り組んで参ります。

### 【職員研修】





職員の知識向上、人材育成を目的とした研修会を開催しています。昨年度は、査察、違反是正に関する研修会を 3 回開催しました。職員による査察シミュレーション実習等、より実践向けの研修となりました。

## 民間防火組織の活動紹介

当消防本部管内には、幼年消防クラブ 18 団体、少年消防クラブ 5 団体、婦人防火クラブ 2 団体が組織されています。幼年・少年消防クラブは火災予防運動期間中に消防職員と街頭広報活動を行い地域に貢献するとともに、このような活動を通して幼少期からの防火思想の育成に取り組んでいます。また、婦人防火クラブは、住宅用火災警報器の設置促進活動や応急手当技術の習得に積極的に取り組んでいます。

### ●主な行事内容

平成 27 年 5 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各幼年消防クラブ任命式</li> <li>・日立建機フェスティバル 龍ヶ崎市婦人防火クラブ員による住宅用火災警報器設置促進広報</li> </ul>
8 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 30 回茨城県幼年少年婦人防火大会 筑西市明野公民館において開催された防火大会に各団体の代表者が参加し、以下のとおり各部門で日頃の活動に対する表彰がありました。 優良民間防火組織クラブ員表彰（龍ヶ崎市婦人防火クラブ員 1 名） 優良民間防火組織クラブ指導者表彰（しらはね保育園幼年消防クラブ 1 名） 優良民間防火組織表彰 （牛久幼稚園幼年消防クラブ）</li> </ul> 
10 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・龍ヶ崎市ふれあい広場 2015 龍ヶ崎市婦人防火クラブ員による住宅用火災警報器設置促進広報</li> </ul>
11 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋季火災予防運動（11 月 9 日～15 日） 龍ヶ崎市婦人防火クラブ員による街頭広報及び一般家庭防火診断 龍ヶ崎市立愛宕中学校少年消防クラブ員による街頭広報 うしく文化認定こども園幼年消防隊員による街頭広報</li> </ul>
平成 28 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春季火災予防運動（3 月 1 日～7 日） 龍ヶ崎市婦人防火クラブ員による街頭広報及び一般家庭防火診断 龍ヶ崎市立城南中学校少年消防クラブ員による街頭広報 牛久幼稚園、ひたち野牛久幼稚園幼年消防クラブ員による街頭広報</li> </ul> 

### 市町村別危険物施設状況

平成28年3月31日現在

施設別 市町村別	製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	合 計
龍ヶ崎市	7	37	35	1	35		27	4	36	27	209
牛久市	1	34	14		20		17	3	29	16	134
稲敷市	4	36	42	2	48	4	17	12	47	26	238
阿見町	6	53	62		30		18	66	27	5	267
利根町		1			4		7	1	8	38	59
河内町		4	4		5		4	1	9	9	36
美浦村	1	10	5	3	8		5		13	9	54
合計	19	175	162	6	150	4	95	87	169	130	997

### 危険物製造所等許可状況

平成27年4月1日～平成28年3月31日

施設別 区分	製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	合 計
設置許可	1	2					2		2	4	11
変更許可	17	4	3		5		4		35	21	89
完成検査	18	5	5		6		6		35	25	100
合計	36	11	8		11		12		72	50	200

### 危険物規制事務手数料

平成27年4月1日～平成28年3月31日

合計	設置許可 手数料	変更許可 手数料	完成検査 手数料	タンク水圧 (水張) 手数料	仮使用手数料	仮貯蔵手数料	仮取扱手数料
4,212	365	2,178	1,301	12	313		43

(単位：千円)

## 市町村別防火対象物現況

平成28年3月31日現在

防火対象物の区分 (令別表第一)		市町村別								合 計
		龍 ヶ 崎 市	牛 久 市	稲 敷 市	阿 見 町	利 根 町	河 内 町	美 浦 村		
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	2		3	2			1	8
	ロ	公会堂又は集会場	33	42	37	31	9	8	18	178
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの			1					1
	ロ	遊技場又はダンスホール	7	8	8	5		1	1	30
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等								
	ニ	カラオケボックス等	3	3		1				7
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	4			1				5
	ロ	飲食店	61	49	29	25	1	1		166
4		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	104	125	57	73	11	5	5	380
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	11	7	14	6			3	41
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	643	543	39	314	9	5	79	1,632
6	イ	病院、診療所又は助産所	34	32	20	32	6		4	128
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等	23	27	7	13	8	4	9	91
	ハ	老人デイサービス、軽費老人ホーム、老人福祉センター等、児童福祉施設等	31	31	26	20	7	4	9	128
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校	7	12	5	8	3		9	44
7		小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校	86	62	54	62	20	11	10	305
8		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	2	3	1	2	2		1	11
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場	2	1	2					5
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場								
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場（旅客用に限る）	1	1						2
11		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	16	18	7	1	7		1	50
12	イ	工場又は作業場	228	140	327	174	33	63	61	1,026
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫又は駐車場	18	12	25	8	1	4	13	81
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	3			3				6
14		倉庫	170	105	261	136	21	67	82	842
15		前各項に該当しない事業場	245	229	240	212	28	61	217	1,232
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されるもの	101	108	32	32	6	4	7	290
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	48	72	26	12	1	3	11	173
17		重要文化財、重要有形民族文化財等	2	2	4		3			11
合 計			1,885	1,632	1,225	1,173	176	241	541	6,873



法 届 出 状 況

市町村別 届出種別		龍	牛	稲	阿	利	河	美	合
		ヶ	久	敷	見	根	内	浦	計
		崎	市	市	町	町	町	村	
		市							
消 防 用 設 備 等 着 工 届		49	57	29	19	2	3	8	167
消 防 用 設 備 等 設 置 届		140	187	63	63	8	12	27	500
防 火 管 理 者 選 任 ( 解 任 ) 届		102	129	51	37	7	2	8	336
統括防火管理者選任(解任)届				2				1	3
防 災 管 理 者 選 任 ( 解 任 ) 届			1	1	1				3
統括防災管理者選任(解任)届				7				1	8
消 防 計 画 書 届		116	132	65	59	11	1	14	398
全体の消防計画書届出(統括防火)		1							1
防災管理に係る消防計画書		1	1						2
全体の消防計画書届出(統括防災)									
自衛消防組織設置届(変更)					1	1			2
圧縮アセチレン貯蔵取扱		3	2	1	4	1			11
無水硫酸貯蔵取扱		1							1
液化石油ガス貯蔵取扱		13	19	6	4				42
生石灰貯蔵取扱					1				1
毒物貯蔵取扱									
劇物貯蔵取扱									
消防用設備等点検報告書		364	483	356	127	53	43	75	1,501
防火対象物点検結果報告書		47	28	35	13	2	2	8	135
防災管理定期点検結果報告書			1	19	2	1			23
本 部 受 付	消 防 用 設 備 等 着 工 届	5	7	2					14
	消 防 用 設 備 等 設 置 届	5	22	2				1	30
	消防用設備等特例申請書								
	表示マーク交付(更新)申請書				1				1
	表示制度対象外施設申請書								
	製造所等設置許可申請	3	2	5	2		2		14
	製造所等変更許可申請	18	15	13	17	2	3	6	74
	製造所等仮使用承認申請	15	8	13	6	2	2	5	51
	製造所等完成検査申請	23	16	17	19	3	3	5	86
危険物規則に関する届等	79	50	56	126	7	16	17	351	
合 計	985	1,160	743	502	100	89	176	3,755	

条 例 届 出 状 況

市町村別		龍ヶ崎市	牛久崎市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村	合計
届出種別									
防火対象物使用開始届		42	45	18	20	2	3	7	137
炉		1	2					1	4
厨房設備		3		2	2			1	8
温風暖房機									
ボイラー・給湯湯沸設備		7	7	6	1		1	3	25
乾燥設備		4		1					5
サウナ設備		1		1					2
ヒートポンプ冷暖房			1				1		2
火花を生ずる設備					1				1
放電加工機			2						2
変電設備		8	20	27	7	1	2	8	73
発電設備		4	6	3	2	3	1		19
蓄電設備		4	5	7	1	3	1	1	22
ネオン管設備			2						2
水素ガスを充填する気球					1				1
火災と紛らわしい行為		50	26	13	3	16	9	7	124
煙火打ち上げ・仕掛け		18	9	16	12	9	10	2	76
催物開催		27	6	15	20	4	5	4	81
水道の断水・減水		3	1	1	2				7
道路工事		92	77	109	120	19	16	65	498
指定洞道等の届出			2						2
少量	少量危険物貯蔵取扱	15	25	15	28	5	4	4	96
	移動タンク貯蔵取扱届								
指定可燃物	可燃性固体類	3	1	2	1				7
	石炭・木炭類								
指定可燃物	可燃性液体類			1					1
	合成樹脂類		1	2					3
指定可燃物	綿花・ぼろ・紙くず等		1						1
合計		282	239	239	221	62	53	103	1,199

## 中高層建築物

平成28年3月31日現在

防火対象物の区分 (令別表第一)		階別														計
		3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階		
1	イ	劇場, 映画館, 演芸場又は観覧場	1													1
	ロ	公会堂又は集会場	4													4
2	イ	キャバレー, カフェー, ナイトクラブ その他これらに類するもの														
	ロ	遊技場又はダンスホール	1													1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等														
3	イ	待合, 料理店その他これらに類するもの	1													1
	ロ	飲食店	2													2
4		百貨店, マーケット, その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	7	1												8
5	イ	旅館, ホテル, 宿泊所その他これらに類するもの	9	6	2					1		1				19
	ロ	寄宿舎, 下宿又は共同住宅	261	86	94	27	11	5	2	3	2	3	5	2	4	505
6	イ	病院, 診療所又は助産所	21	4	4		3	1								33
	ロ	老人短期入所施設, 養護老人ホーム, 特別養護老人ホーム, 有料老人ホーム等	10	5												15
	ハ	老人デイサービス, 軽費老人ホーム, 老人福祉センター等, 児童福祉施設等	1	1												2
	ニ	幼稚園, 盲学校, 聾学校又は養護学校	1													1
7		小学校, 中学校, 高等学校, 中等教育学校, 高等専門学校, 大学, 専修学校, 各種学校	76	24	4	1	4	1								110
8		図書館, 博物館, 美術館その他これらに類するもの														
9	イ	蒸気浴場, 熱気浴場その他これらに類する公衆浴場														
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場														
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場(旅客用に限る)														
11		神社, 寺院, 教会その他これらに類するもの	8		2											10
12	イ	工場又は作業場	36	11	3						1					51
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ		1												1
13	イ	自動車車庫又は駐車場	1	1												2
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫														
14		倉庫	5		1		1									7
15		前各項に該当しない事業場	78	19	8	5		1								111
16	イ	複合用途防火対象物のうち, その一部が(1)項から(4)項まで, (5)項イ, (6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されるもの	59	8	8	8	1	2					1			87
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	57	13	8	1	2			2						83
17		重要文化財, 重要有形民族文化財等	5	3	1											9
<b>合 計</b>			<b>644</b>	<b>183</b>	<b>135</b>	<b>42</b>	<b>22</b>	<b>10</b>	<b>3</b>	<b>6</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>6</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>1,063</b>

建築確認事務状況

防火対象物の区分 (令別表第一)		市町村別	龍 ヶ 崎 市	牛 久 市	稲 敷 市	阿 見 町	利 根 町	河 内 町	美 浦 村	合 計
		専 用 住 宅	17	19	10	6		5		57
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場								
	ロ	公会堂又は集会場	1	1	1	1			1	5
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの								
	ロ	遊技場又はダンスホール								
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等								
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	2							2
	ロ	飲食店		5						5
4		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	3	6	3	4	1		2	19
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの			1					1
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	3	9	1	1	1		1	16
6	イ	病院、診療所又は助産所		1		3	1		2	7
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等	4	2						6
	ハ	老人デイサービス、軽費老人ホーム、老人福祉センター等、児童福祉施設等	4	3	5	4			1	17
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校			1					1
7		小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校	1	2		3		1	1	8
8		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの								
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場								
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場								
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場（旅客用に限る）								
11		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	1		1					2
12	イ	工場又は作業場	5	2	7	2		1		17
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫又は駐車場		1	3					4
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	1							1
14		倉庫	7	4	8	5	1	5	4	34
15		前各項に該当しない事業場	10	13	10	6	1	1	2	43
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されるもの	1	4						5
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	1	3					1	5
17		重要文化財、重要有形民族文化財等								
合 計			61	75	51	35	5	13	15	255

## 民間防火組織一覽

### 1 幼年消防クラブ

平成28年4月1日現在

市町村名	クラブ名	結成年月日	構成人員		
			男	女	計
龍ヶ崎市	さとう文化学園龍ヶ崎文化幼稚園幼年消防隊	昭和59年11月27日	23	14	37
〃	龍ヶ崎つばめ保育園幼年消防隊	平成15年6月2日	10	7	17
〃	ながと夢保育園幼年消防クラブ	平成23年9月1日	16	22	38
〃	しらはね保育園幼年消防クラブ	平成23年9月1日	9	13	22
牛久市	うしく文化認定こども園幼年消防隊	昭和59年7月1日	21	23	44
〃	牛久幼稚園幼年消防クラブ	昭和61年9月13日	48	47	95
〃	ひたち野牛久幼稚園幼年消防クラブ	平成15年5月26日	27	18	45
阿見町	阿見認定こども園幼年消防クラブ	昭和61年8月1日	15	15	30
〃	荒川沖幼稚園幼年消防クラブ	昭和61年9月2日	34	36	70
〃	中郷保育所幼年消防クラブ	昭和61年9月2日	9	23	32
〃	二区保育所幼年消防クラブ	昭和61年9月2日	9	13	22
〃	阿見みどり幼稚園幼年消防クラブ	昭和63年4月1日	41	49	90
〃	ふたば幼稚園幼年消防クラブ	昭和63年4月1日	30	25	55
〃	あゆみ保育園幼年消防クラブ	平成13年9月4日	18	13	31
〃	南平台保育所幼年消防クラブ	平成15年4月1日	8	13	21
〃	阿見ひかり保育園幼年消防クラブ	平成22年4月1日	13	11	24
〃	さくら保育園幼年消防クラブ	平成25年11月1日	17	17	34
利根町	利根大和幼稚園幼年消防クラブ	昭和59年12月1日	13	10	23
合 計			361	369	730

### 2 少年消防クラブ

平成28年4月1日現在

市町村名	クラブ名	結成年月日	構成人員		
			男	女	計
龍ヶ崎市	龍ヶ崎市城南中学校少年消防クラブ	昭和36年4月1日	4	3	7
〃	龍ヶ崎市愛宕中学校少年消防クラブ	昭和36年8月26日	12		12
〃	龍ヶ崎市城西中学校少年消防クラブ	平成7年6月1日	9	8	17
阿見町	阿見町立君原小学校少年消防クラブ	平成2年10月1日	8	8	16
〃	阿見町立吉原小学校少年消防クラブ	平成2年11月1日	5	4	9
合 計			38	23	61

### 3 婦人防火クラブ

平成28年4月1日現在

市町村名	クラブ名	結成年月日	構成人員
龍ヶ崎市	龍ヶ崎市婦人防火クラブ連絡協議会 根町・田町・横町地区婦人防火クラブ 新町・米町地区婦人防火クラブ 下町・砂町地区婦人防火クラブ 上町・高砂・直鮎地区婦人防火クラブ 八原地区婦人防火クラブ 馴柴地区婦人防火クラブ 馴馬・川原代地区婦人防火クラブ 北文間地区婦人防火クラブ	平成元年9月27日	300
牛久市	牛久市松ヶ丘婦人消防隊	平成7年7月1日	4
合 計			304



# 警 防



● 指揮隊訓練





## 消防機動力

消防活動に欠かせない消防車両などの消防機械は、水槽付消防ポンプ自動車や救急車のほか、化学消防ポンプ自動車、梯子付消防自動車、救助工作車、水槽車などの特殊消防自動車、その他の車両、トライアルバイク、救助艇を管内に 102 台配置しています。

<p>化学消防ポンプ自動車 3台</p>	<p>梯子付消防自動車 3台</p>	<p>救助工作車 3台</p>
		
<p>化学消火薬剤 1,200ℓと、水 1,300ℓが積載されており、水だけによる消火が不可能な場合に泡消火剤を放射し消火することができます。車両の上部には放水銃が装備され、大量放水・泡放射が可能となっています。</p>	<p>中高層建物など高所での消火活動や、人命救助に使用されます。写真は 40m級の車両で、最大で 40m、起立角度は 75° から -10° まで可動し、水難事故等で停車位置よりも低い位置に要救助者がいる場合に有効です。</p>	<p>火災・交通事故・水難事故等の様々な現場において、人命救助活動に使用されます。特に、交通事故などで車両に閉じ込められた人を救助することが多く、クレーン、ウィンチ、油圧救助器具等を装備しています。</p>
<p>水槽車 1台</p>	<p>資機材搬送車 3台</p>	<p>水槽付消防ポンプ自動車 12台</p>
		
<p>10 t のステンレス製水槽と、小型動力ポンプが装備され、火災消火活動等で必要不可欠な水を各消防車両へ補給し、また飲料水としても使用できる水を積載していることから震災時等においても給水車として活用できます。</p>	<p>大規模災害、特殊災害、水難事故等の災害種別に応じて、必要な資機材を現場へ迅速に搬送することができます。写真の車両には、最大で 1,000kg 昇降可能装置が装備されており、少人数で荷物の積み下ろしができます。</p>	<p>火災現場において主力となり、2,000ℓの水を積載し、消火栓や防火水槽を利用することなく、消火活動を行うことができます。<b>CAFS※</b>を使用することで、少ない水での消火活動が可能となります。(一部 CAFS 未装備車有)</p>

<b>消防ポンプ自動車</b> <b>9台</b>	<b>救急車(高規格及び2B)</b> <b>15台</b>	<b>指揮車</b> <b>7台</b>
		
<p>主に、水槽付消防ポンプ自動車に水を送る中継車として使用されます。小型のため、狭隘地では火災現場へ最接近し、<b>CAFS※</b>と600ℓの水槽の水を使用し、直ちに消火することができます。(一部CAFS、水槽未装備車有)</p>	<p>傷病者に対し救急活動を行うための車内空間と、救急救命処置に必要な救急資器材、固定装置、防振架台等を装備し救急処置拡大に対応できる構造になっています。</p>	<p>災害現場で指揮を執る「指揮隊」が搭乗し運用します。出場と同時に、現場の詳細、出場隊の状況など多くの情報を取り入れ、的確な指揮命令を下すための資器材、通信施設等を装備しています。</p>
<b>広報車</b> <b>6台</b>	<b>トライアルバイク</b> <b>10台</b>	<b>救助艇</b> <b>10艇</b>
		
<p>災害現場における現場広報の支援に加え、防火対象物の査察執行、各種訓練指導、消防水利調査、火災予防週間における広報活動等、多目的に活用する車両です。</p>	<p>オフロードタイプの軽二輪車（排気量50cc以下）で、地震などの大規模災害時には、道路における通行障害や交通渋滞を避けることができ、迅速な被害調査、状況把握等を行うことができます。</p>	<p>河川・湖沼にて発生した水難事故等において、迅速な救助及び検索活動を行います。水中探索器を装備しているため、水面からの水中検索にも威力を発揮します。</p>

※ **CAFS**とは、水に少量の消火薬剤を加え、そこへ圧縮空気を送り込むことにより発泡させる装置で、水の表面積を広げることで効率良く消火することができます。

- 消防車両の更新基準      特殊車（化学車、梯子車、救助工作車）20年  
消防ポンプ車 15年  
救急車 12年

※ この基準を基に走行距離、出場件数、性能維持、修繕履歴等を総合的に検討し、短縮又は延長を判断し更新しております。

# 消 防 車 両 等 の 配 置 状 況

平成28年4月1日現在

所属	車 種 別	登 録 番 号	車 名 等	型 式	排気量	年 式
消 防 本 部	乗 用 車	土 33や3129	ト ヨ タ	E-JZS151	2,490	H 9. 7. 8
	指 揮 車	土 800さ4434	ニ ッ サ ン	KG-VWMGE24	3,150	H12. 9. 21
	指 揮 車	土 800さ 292	ニ ッ サ ン	GF-A33	1,990	H11. 6. 11
	防 火 広 報 車	土 300ひ6447	ニ ッ サ ン	UA-RC24	2,480	H15. 9. 30
	予 防 査 察 車	土 331も2013	ト ヨ タ	DAA-ZVW41W	1,790	H25. 9. 20
	予 防 査 察 車	土 501ゆ8920	ホ ン ダ	DAA-GP2	1,330	H24. 10. 1
	救 急 救 助 車	土 480き1774	ミ ツ ビ シ	GBD-U61V	650	H23. 10. 3
	総 務 車	土 501ら9055	ホ ン ダ	DAA-GP2	1,330	H25. 8. 1
	警 防 車	土 52つ8837	ミ ツ ビ シ	E-CB2W	1,460	H11. 3. 31
龍 ヶ 崎 署	化 学 車	土 88さ2311	イ ス ズ	KC-CVR80K2改	15,200	H 9. 12. 3
	救 助 工 作 車	土 830さ2010	日 野	BDG-GX7JGWA改	6,400	H22. 2. 22
	水 槽 付 ポンプ車	土 800は 70	ミ ツ ビ シ	KK-FK61HGX	8,200	H12. 1. 17
	水 槽 付 ポンプ車	土 88さ2437	イ ス ズ	KC-FSR33G4V改	8,220	H11. 1. 18
	普 通 ポンプ車	土 830す 50	日 野	SKG-XZU685M	4,000	H24. 1. 30
	普 通 ポンプ車	土 800さ2194	イ ス ズ	KK-NKR71GN	4,570	H12. 1. 14
	救 急 車	土 800す6193	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H19. 2. 15
	救 急 車	土 800す3226	ト ヨ タ	TC-VCH22S	3,370	H17. 2. 24
	指 揮 車	土 830さ1680	ト ヨ タ	CBF-TRH200K	1,990	H28. 1. 21
	査 察 車	土 480う 155	ス バ ル	LE-TV1	650	H18. 7. 11
	資 材 搬 送 車	土 830せ1220	日 野	TKG-XZU720M	4,000	H24. 10. 29
	資 材 搬 送 車	土 430ち 119	ト ヨ タ	ABF-TRY230	1,990	H22. 2. 22
	マイクログラス	土 200さ1102	ト ヨ タ	BDG-XZB51	4,000	H20. 7. 25
牛 久 署	梯 子 車	土 88さ1730	日 野	U-PR2FNAF	17,230	H 6. 11. 22
	水 槽 付 ポンプ車	土 800は 469	ミ ツ ビ シ	KK-FK61HGX	8,200	H15. 12. 17
	普 通 ポンプ車	土 800は1018	日 野	BDG-GD7JGWA改	6,400	H21. 2. 6
	普 通 ポンプ車	土 830さ1453	日 野	TKG-XZU685M	4,000	H26. 12. 5
	救 急 車	土 830た 71	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H22. 3. 25
	救 急 車	土 830さ1372	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H25. 11. 19
	指 揮 車	土 800さ4215	ニ ッ サ ン	GF-U30	2,380	H12. 8. 25
	査 察 車	土 501の1982	マ ツ ダ	DBA-DY3W	1,340	H18. 5. 19
	ボートトレーラー	土 800る1083	シーマリントレーラ	—	—	H23. 5. 23
い な ほ 署	梯 子 車	土 88さ2156	日 野	KC-FF1JKBA改	7,960	H 8. 11. 5
	救 助 工 作 車	土 88さ2448	ミ ツ ビ シ	KC-FK629GZ改	8,200	H11. 2. 15
	水 槽 付 ポンプ車	土 830ら 119	日 野	BDG-GX7JGWA改	6,400	H21. 2. 6
	普 通 ポンプ車	土 830す 54	日 野	BDG-XZU378M	4,000	H23. 1. 7
	救 急 車	土 830さ1262	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H24. 12. 6
	救 急 車	土 830さ1569	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H27. 9. 28
	指 揮 車	土 830さ1482	ト ヨ タ	CBF-TRH200K	1,990	H26. 1. 9
	広 報 車	土 800す 857	ニ ッ サ ン	UA-WFY11	1,490	H15. 8. 29
	マイクログラス	土 22す3673	ト ヨ タ	U-HDB51	4,160	H 7. 6. 30
	ボートトレーラー	土 800る 487	トレールライト	—	—	H15. 10. 29
	ボートトレーラー	土 800る1092	シーマリントレーラ	—	—	H23. 7. 4
	ボートトレーラー	土 800る1053	シーマリントレーラ	—	—	H22. 8. 2

所属	車種別	登録番号	車名等	型式	排気量	年式
阿見署	梯子車	土 88さ2177	日 野	KC-PR4FPDF	20,780	H9.1.8
	化学車	土 830さ1518	日 野	SDG-GX7JGAA改	6,400	H27.3.17
	救助工作車	土 88さ1391	三 菱	U-FK417FZW改	7,540	H3.11.20
	水槽車	土 88さ 753	三 菱	FU413JD改	14,880	S61.9.29
	資材搬送車	土 88す7384	ト ヨ タ	T-YY51改	1,810	H4.6.29
	水槽付ポンプ車	土 800は1024	日 野	BDG-FR1APYA	8,860	H21.3.25
	普通ポンプ車	土 88に3974	三 菱	KC-FG538D	4,560	H8.12.5
	救急車	土 800す9390	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H26.10.16
	救急車	土 800す8344	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H24.3.15
	指揮車	土 800す8993	ト ヨ タ	DBA-ZRR70G	1,980	H25.9.26
	広報車	土 880あ 490	ニ ッ サ ン	EBD-U71V	650	H25.3.28
	査察車	土 300て9567	ト ヨ タ	GF-RZN185W	2,690	H13.7.24
	非常用消防車	土 88さ2322	日 野	KC-GD1JGBA改	7,960	H10.1.5
	非常用救急車	土 800す3269	ト ヨ タ	TC-VCH32S	3,370	H17.3.3
利根署	水槽付ポンプ車	土 830す1334	日 野	SDG-GD7JGAA改	6,400	H25.1.8
	普通ポンプ車	土 88に6424	イ ス ズ	KC-NKS71GR	4,570	H9.12.5
	救急車	土 830さ1463	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H26.12.19
	指揮車	土 800す 864	ニ ッ サ ン	UA-TC24	1,990	H15.9.1
	ボートトレーラー	土 800る1216	シーマリントレーラ	—	—	H25.8.20
新河分署	化学車	土 830さ2012	日 野	LKG-FH1ALAA改	8,860	H24.2.15
	水槽付ポンプ車	土 830さ1537	日 野	SDG-GD7JGAA改	6,400	H27.9.16
	普通ポンプ車	土 830さ1457	日 野	TKG-XZU685M	4,000	H26.2.7
	救急車	土 830つ 66	ニ ッ サ ン	CBF-FPWGE50改	3,490	H22.2.15
	広報車	土 800す6647	ニ ッ サ ン	DBA-Y12	1,490	H20.1.9
	資材搬送車	土 44ね6184	ト ヨ タ	M-YY61	1,990	S62.2.26
	ボートトレーラー	土 800る1054	シーマリントレーラ	—	—	H22.8.12
桜東分署	水槽付ポンプ車	土 830さ1441	日 野	SDG-GX7JGAA改	6,400	H26.1.10
	普通ポンプ車	土 830そ 56	日 野	BDG-XZU378M	4,000	H23.1.7
	救急車	土 830ゆ 119	ニ ッ サ ン	CBF-FPWGE50改	3,490	H21.1.15
	広報車	土 88せ6375	ニ ッ サ ン	GA-VEW10	1,590	H11.2.23
	資材搬送車	土 800す6416	ミ ツ ビ シ	PDG-FE82D	4,890	H19.7.6
龍西所	水槽付ポンプ車	土 800は 969	ミ ツ ビ シ	PDG-FL63FX改	7,540	H20.1.22
	救急車	土 830て 64	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H23.1.21
	広報車	土 800さ6655	ニ ッ サ ン	TC-VW11	1,760	H13.6.21
	非常用救急車	土 88に9647	ト ヨ タ	GB-VCH32S	3,370	H11.1.14
牛東所	水槽付ポンプ車	土 800は 919	ミ ツ ビ シ	PA-FL63FX改	7,540	H19.2.21
	救急車	土 800す6255	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H19.3.14
	広報車	土 830さ1487	ト ヨ タ	CBF-TRH200V	1,990	H26.12.12
	非常用消防車	土 88さ2315	イ ス ズ	KC-FSR33G4V改	8,220	H9.12.12

# 主 な 消 防 器 具 等

平成28年4月1現在

器 具 名		本 部	消防署	分署	出張所	合 計
救 助 器 具	救 助 ボ ー ト		7	2		9
	救 助 用 水 上 バ イ ク		1			1
	検 索 用 探 知 機		6		1	7
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー		17	4	2	23
	チ ェ ー ン ソ ー		23	4	2	29
	エ ア ー ソ ー		4			4
	手 動 式 油 圧 救 助 器 具		6		2	8
	油 圧 ス プ レ ッ タ ー		4	1		5
	油 圧 カ ッ タ ー		5	1		6
	マ ッ ト 型 エ ア ー ジ ャ ッ キ		4	1		5
	送 排 風 機		7			7
	削 岩 機		5			5
	ガ ス 溶 断 機		3			3
	ハ ン マ ー ド リ ル		4			4
	救 命 索 発 射 銃		8			8
	地 中 音 響 探 知 機		2			2
	熱 画 像 直 視 装 置		4			4
	夜 間 暗 視 装 置		1			1
	地 震 警 報 器		1			1
	保 護 器 具	画 像 探 索 機 I 型		1		
画 像 探 索 機 II 型			2			2
簡 易 画 像 探 索 機			3			3
空 気 式 救 助 マ ッ ト			3			3
可 搬 式 ウ ィ ン チ			11	2	2	15
耐 熱 防 護 服			9	4		13
耐 刃 防 護 服			30	12	8	50
耐 電 用 防 護 服			16	3	2	21
毒 劇 物 防 護 服			19			19
放 射 線 防 護 服			7			7
測 定 器 具	空 気 呼 吸 器		104	29	16	149
	酸 素 呼 吸 器		10			10
	可 燃 性 ガ ス 測 定 器		9	2		11
	有 毒 ガ ス 測 定 器		5			5
救 急 器 具	放 射 線 測 定 器		19	2	2	23
	ポ ケ ッ ト 線 量 計		38	10	10	58
	パ ル ス オ キ シ メ ー タ ー	1	27	4	6	38
	A E D	1	12	4	3	20
	半 自 動 除 細 動 器		9		1	10
	自 動 心 肺 蘇 生 器	1	4	2		7
	シ ョ ッ ク パ ン ツ		3			3
	輸 液 ポ ン プ	2	4			6
そ の 他	観 察 用 モ ニ タ ー	2	10	2	2	16
	携 帯 用 心 電 計		3			3
	人 工 蘇 生 器	2	9	2	2	15
	シ ャ ッ ト ノ ク サ ス		3			3
	発 電 機	3	25	5	3	36
投 光 器		25	5	3	33	
呼 吸 器 用 高 圧 空 気 圧 縮 機		1			1	
非 常 用 ろ 過 器		5			5	

## 消防隊の主な訓練及び講習会等

火災、救助等の多種多様な災害に対応するためには、車両や資機材等の充実化を図ることが必要ですが、災害による被害を最小限に止めるためには、それらを有効に活用するための訓練が必要です。そこで、年間を通じて各種訓練等を行い、技術の向上に努めています。また安全運転講習会等も実施し、緊急車両による交通事故を未然に防ぐよう努めています。

### 指揮隊訓練

この指揮隊訓練とは、火災現場を想定し3人搭乗の指揮隊を編成、現場の統括、部隊の運用、安全管理、情報収集等に関する訓練で組織活動における指揮隊の位置づけ及び必要性を理解すると共に、指揮隊として必要な基本的活動を身に付けるものとし、活動方針の決定、指示、下命における流れ等を理解する訓練です。



### 特殊災害対応訓練（BC対応訓練）

この特殊災害訓練は、「B」バイオ（生物剤・細菌・ウイルス）「C」ケミカル（化学剤）を使用したテロ行為等に対応する訓練で、指揮隊による現場の統括、部隊の運用等に関し、危険区域、準危険区域の理解、要救助者に対する除染方法を確認し、知識と技術を身に付け、迅速対応による住民の安全確保、被害の拡大防止を目的とした訓練です。



## 野営訓練

この訓練は、震災等の大規模災害により他県へ応援出場した場合など、数日間活動しなければならない場合の野営訓練です。過酷な災害現場で活動する隊員の支援は、非常に重要な任務であり、必要な訓練となっています。



## 震災対応訓練

この震災対応訓練は、管内において震度6強以上の地震に伴い多発する災害及びライフライン等の被害を想定し、大地震に対する防災機関相互の緊密な連携を確立するとともに、危機管理体制の高揚及び防災行動力の向上を図る訓練です。

なお、訓練参加機関は当消防本部を含め、構成市町村が参加しました。



## 高度救助隊訓練

当消防本部では、平成22年7月1日に高度救助隊が発足致しました。

高度救助隊は、専門的な知識・技術を有した隊員と高度救助用資機材等の装備・救助工作車で編成し、より高度な人命救助をはじめ、特殊な災害に即座に対応できるよう常日頃から訓練を行っています。



## 潜水救助隊訓練

当消防本部では、利根川・小貝川・霞ヶ浦・牛久沼などで発生する水難事故に対応するため、潜水救助隊を設けています。

潜水救助隊員は、溺水者救助訓練・救命艇救助訓練・水中検索救助訓練等を行い水難事故対応に万全を期しています。



## 茨城県消防救助技術大会訓練

毎年6月に行われる茨城県消防救助技術大会は人命救助のスペシャリストの救助隊員が、日頃鍛えた訓練の成果を発表し救助技術の相互の向上を図ることを目的とした大会であります。この大会には引揚救助・障害突破・ロープブリッジ救出などの救助種目があり、全国大会・関東大会を目指し訓練に励んでいます。



## 水防訓練

この訓練は、台風時期などに河川や湖沼から水害が発生した場合に被害を最小限に止めるよう積土のう工法，繋ぎ縫い工法，月の輪工法，釜段工法などの各水防工法を実施し，水防技術の向上並びに水防機関相互の協力体制の確立を図っています。





## 総 出 場 状 況

種 別		件 数	車 両 数	延 人 員	
火	建 物	52	375	1,252	
	林 野	7	38	133	
	車 両	18	96	334	
災	航 空 機				
	船 舶				
	そ の 他	22	116	367	
火 災 合 計		99	625	2,086	
救 助		167	809	2,826	
救 急 支 援		1,098	1,123	3,898	
風 水 害 等		20	30	86	
演 習 訓 練		270	372	1,367	
広 報 活 動 ・ 訓 練 指 導		643	800	2,500	
警 防 調 査		924	945	2,997	
火 災 調 査		99	148	531	
特 別 警 戒		34	43	131	
捜 索		3	11	36	
予 防 査 察		966	1,018	3,355	
そ の 他	非 火 災	誤 報 ・ 誤 認 等	143	266	968
		い た ず ら	11	27	91
		自 火 報 調 査	26	43	161
		怪 煙 偵 察	7	9	32
		そ の 他	130	193	786
		非 火 災 合 計	317	538	2,038
危 険 排 除		75	81	293	
各 種 検 査		313	376	1,072	
各 種 調 査		182	201	602	
蜂 の 巣 駆 除		3	3	12	
危 険 物 流 出 事 故		11	15	50	
圏 域 外 応 援 出 場		3	3	11	
そ の 他		1,307	1,426	3,656	
そ の 他 の 合 計		2,211	2,643	7,734	
合 計		6,534	8,567	27,547	

(旧阿見町消防本部件数分合算)

※この頁の火災出場件数には、事後覚知による火災(12件)は含まれません。

※救急出動状況については、救急関係に記載しています。

※救助出動欄には、火災以外へ出場した件数、車両数、延人員を記載しています。

所属別火災出場状況

管内別	種別 區別 両別	建物火災		林野火災		車両火災		その他の火災		計	
		車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員
		台	人	台	人	台	人	台	人	台	人
消防本部	指揮車	22	67	2	6	7	22	5	15	36	110
	資材運搬車										
	警防車										
	その他の車両	1	2			1	2	1	3	3	7
龍ヶ崎署	化学車					1	5	2	8	3	13
	救助工作車	19	75	3	11	7	28	3	12	32	126
	水槽付ポンプ車	20	83	3	12	5	21	5	21	33	137
	普通ポンプ車	15	54	2	8	6	24	5	16	28	102
	指揮車	9	21	1	4	2	7	2	6	14	38
	救急車	4	12			3	10			7	22
	化学車										
新河分署	水槽付ポンプ車	12	43	1	4	5	20	3	11	21	78
	普通ポンプ車	6	19			1	3	2	6	9	28
	救急車	3	9							3	9
	広報車	4	10				1	1		5	11
龍西所	水槽付ポンプ車	10	45	2	10					12	55
	救急車	4	12							4	12
	広報車	2	2							2	2
牛久署	梯子車	1	3							1	3
	水槽付ポンプ車	16	76	1	5	5	19	7	33	29	133
	普通ポンプ車	28	103	1	3	4	14	5	17	38	137
	指揮車	5	15	1	3	3	9	3	6	12	33
	救急車	8	24			2	6	1	3	11	33
牛東所	水槽付ポンプ車	18	78	1	3	3	15	4	19	26	115
	救急車	1	3							1	3
	広報車	1	1	1	2					2	3
いなほ署	梯子車	1	3							1	3
	救助工作車	13	47	2	7	5	17			20	71
	水槽付ポンプ車	26	93	4	14	9	35	7	23	46	165
	普通ポンプ車	3	10	1	3	1	3	2	6	7	22
	指揮車	9	23	2	5	2	5	5	13	18	46
	救急車	12	33	1	3	4	12			17	48
	広報車										
桜東分署	その他の車両	2	4							2	4
	水槽付ポンプ車	11	40	1	4	1	4	3	10	16	58
	普通ポンプ車	3	10			1	4	2	6	6	20
	救急車										
阿見署	広報車	2	7					2	6	4	13
	水槽車	2	5							2	5
	梯子車										
	化学車	8	31			3	10	3	11	14	52
	救助工作車	6	18			2	6	4	10	12	34
	水槽付ポンプ車	8	26			2	6	6	20	16	52
	普通ポンプ車	9	27			3	9	7	20	19	56
	指揮車	5	15			2	4	1	1	8	20
	救急車	7	21			2	6	2	6	11	33
その他の車両	1	2					5	9	6	11	
利根署	水槽付ポンプ車	8	27	3	11	1	4	1	3	13	45
	普通ポンプ車	7	19	3	10	1	3	1	3	12	35
	救急車	4	16					1	4	5	20
	指揮車	4	12	2	4			2	4	8	20

(旧阿見町消防本部件数分合算)

管内別	種別 區別 両別	建物火災		林野火災		車両火災		その他の火災		計	
		車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員
		台	人	台	人	台	人	台	人	台	人
江戸崎署	救助工作車	3	9	1	3	2	6			6	18
	水槽付ポンプ車	4	12	2	6	3	10	4	12	13	40
	普通ポンプ車	3	10	1	3	1	3	1	3	6	19
	指揮車	2	5	1	3	1	3	3	7	7	18
	救急車	1	3			2	6			3	9
美浦所	その他の車両										
	梯子車										
	水槽付ポンプ車	2	9	1	4			3	12	6	25
	救急車										
	広報車	1	2					1	2	2	4

※江戸崎署・美浦所は統合前1月～3月の件数

### 救助事故種別出動件数及び活動件数

区分	事故種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
	出動件数	38	13	80	6	1	5	7			17	<b>167</b>
	活動件数	25	8	28	4	1	2	6			7	<b>81</b>

(旧阿見町消防本部件数分合算)

### 救助事故種別救助人員及び車両搬送人員

区分	事故種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
	救助人員	6	2	32	4	1	2	6		1	6	<b>60</b>
搬送車両等の内訳	救急自動車	4	2	34	4		2	2			5	<b>53</b>
	ヘリコプター			1						1		<b>2</b>
	消防機関のその他車両等											
	消防機関以外の車両等			1		1						<b>2</b>
	計	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>36</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>2</b>		<b>1</b>	<b>5</b>	<b>57</b>

(旧阿見町消防本部件数分合算)

### 救助事故種別出動人員及び活動人員

区分	事故種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
出動人員	専任救助隊員	136	51	300	37	4	18	20			62	<b>628</b>
	兼任救助隊員	38	9	70							5	<b>122</b>
	消防隊員	824	183	264	109	19	19	9			44	<b>1,471</b>
	救急隊員	123	36	351	21	3	15	9			47	<b>605</b>
	計	<b>1,121</b>	<b>279</b>	<b>985</b>	<b>167</b>	<b>26</b>	<b>52</b>	<b>38</b>			<b>158</b>	<b>2,826</b>
活動人員	専任救助隊員	74	19	77	25		7	12			24	<b>238</b>
	兼任救助隊員	9	6	33								<b>48</b>
	消防隊員	171	66	98	73	3	7	5			17	<b>440</b>
	救急隊員	21	9	118	15		3	6			23	<b>195</b>
	計	<b>275</b>	<b>100</b>	<b>326</b>	<b>113</b>	<b>3</b>	<b>17</b>	<b>23</b>			<b>64</b>	<b>921</b>

(旧阿見町消防本部件数分合算)

### 救助事故種別発生場所別出動件数

区分		事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械等 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
		建物	建物 以外										
屋内	住居	36							5			3	44
	その他の屋内	1						4				2	7
屋外	道路	高速自動車道			2								2
		その他の道路		8	70							3	81
	水面	内水面				6	1						7
		外水面											
	山岳												
その他の屋外	1	4	8				1	2			7	23	
地下													
その他			1									2	3
計		38	13	80	6	1	5	7				17	167

(旧阿見町消防本部件数分合算)

### 救助事故種別発生場所別活動件数

区分		事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械等 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
		建物	建物 以外										
屋内	住居	25							4			1	30
	その他の屋内							2				1	3
屋外	道路	高速自動車道											
		その他の道路		5	24								29
	水面	内水面				4	1						5
		外水面											
	山岳												
その他の屋外		3	4					2			4	13	
地下													
その他												1	1
計		25	8	28	4	1	2	6				7	81

(旧阿見町消防本部件数分合算)

### 救助事故種別発生場所別救助人員

区分		事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械等 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
		建物	建物 以外										
屋内	住居	6							4			1	11
	その他の屋内							2				1	3
屋外	道路	高速自動車道											
		その他の道路		1	28								29
	水面	内水面				4	1						5
		外水面											
	山岳												
その他の屋外		1	4					2			4	11	
地下													
その他												1	1
計		6	2	32	4	1	2	6				7	60

(旧阿見町消防本部件数分合算)

### 救助事故種別出動車両台数

区分	事故種別		火 災	交通 事故	水難 事故	風水害 等 自 然災害	機械等 に よ る事故	建物等 に よ る事故	ガス及 び 酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
	建物	建物 以外										
救助工作車	33	12		76	7	1	5	7			17	158
消防ポンプ車	152	38		78	13	1	5	2			11	300
はしご車												
化学車	4	2		7							1	14
指揮車・司令車	64	15		7	13	3					1	103
救急自動車	40	12		115	7	1	5	4			16	200
船 船					8	2						10
そ の 他	10			2	12							24
<b>計</b>	<b>303</b>	<b>79</b>		<b>285</b>	<b>60</b>	<b>8</b>	<b>15</b>	<b>13</b>			<b>46</b>	<b>809</b>

(旧阿見町消防本部件数分合算)

### 救助事故種別活動車両台数

区分	事故種別		火 災	交通 事故	水難 事故	風水害 等 自 然災害	機械等 に よ る事故	建物等 に よ る事故	ガス及 び 酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
	建物	建物 以外										
救助工作車	21	5		20	4		2	5			6	63
消防ポンプ車	36	14		29	9		2	2			5	97
はしご車												
化学車	2	1		5								8
指揮車・司令車	17	6		1	8							32
救急自動車	12	3		34	5		1	2			5	62
船 船					4	1						5
そ の 他	7			1	5							13
<b>計</b>	<b>95</b>	<b>29</b>		<b>90</b>	<b>35</b>	<b>1</b>	<b>5</b>	<b>9</b>			<b>16</b>	<b>280</b>

(旧阿見町消防本部件数分合算)

### 救助隊員の訓練実施状況

訓練種別	区分	実施延回数	実施延人員	実施延時間
体 力 練 成		552	1,369	580:00
ロープ基本・応用訓練		114	463	182:10
検 索 ・ 救 助 訓 練		114	521	196:15
各種救助器具取扱		348	1,400	478:05
各種救助事象想定訓練		193	1,119	304:10
そ の 他 の 訓 練		856	3,809	1774:05
<b>計</b>		<b>2,177</b>	<b>8,681</b>	<b>3514:45</b>

(旧阿見町消防本部件数分合算)

圏域内市町村別消防水利施設設置状況

平成28年4月1日現在

種別 市町村名	消防水利 現有数	防火水槽			消火栓		その他の 水利 プール 自然水利
		公設	公設耐震 飲料水兼用	私設	公設	私設	
		龍ヶ崎市	960	381	3	42	
牛久市	1,038	408	3	25	329	273	1
稲敷市	1,136	516	4	74	542	0	1
阿見町	754	230	44	139	339	2	13
利根町	241	149	2	0	90		0
河内町	238	52		4	182		6
美浦村	564	116		76	328	44	3
合計	4,931	1,852	56	360	2,331	332	46

# 通 信



- 高機能消防指令センター





## 通信・指令の業務

高機能消防指令センターでは、位置情報通知システム、自動出動指定装置、地図検索装置などの通信施設を活用し、119番受付から消防隊・救急隊・救助隊への出場指令、現場活動への支援情報の提供のほか、関係機関への連絡、市民への災害情報提供など一連の業務を迅速かつ確実に行っています。

## 指令システム

119番通報の受信から出場まで



119通報

災害の通報は、119番通報、消防署所への駆け付け通報、緊急通報システムからの通報、警察などからの通報があります。



通報受付

災害場所を短時間で特定する事が被害の軽減につながることから、位置情報通知システムや地図検索装置を活用しています。



出場指令

自動出動指定装置、出動車両運用管理装置を活用し、災害種別、規模に応じた直近の消防隊などを自動編成し、正確な情報の伝達と的確な出場指令を行います。

## 119番通報電話機別の推移

稲敷広域

年次 区分	平成25年	平成26年	平成27年
固定電話	6,082	5,522	5,376
携帯電話	5,458	5,766	6,304
IP 電話	3,882	4,044	4,627
計	15,422	15,332	16,307

携帯電話からの119番通報は、平成25年中は35.4%、平成26年中は37.6%、平成27年中は38.7%となり、携帯着信件数は年々増加の傾向が見られます。

阿見町

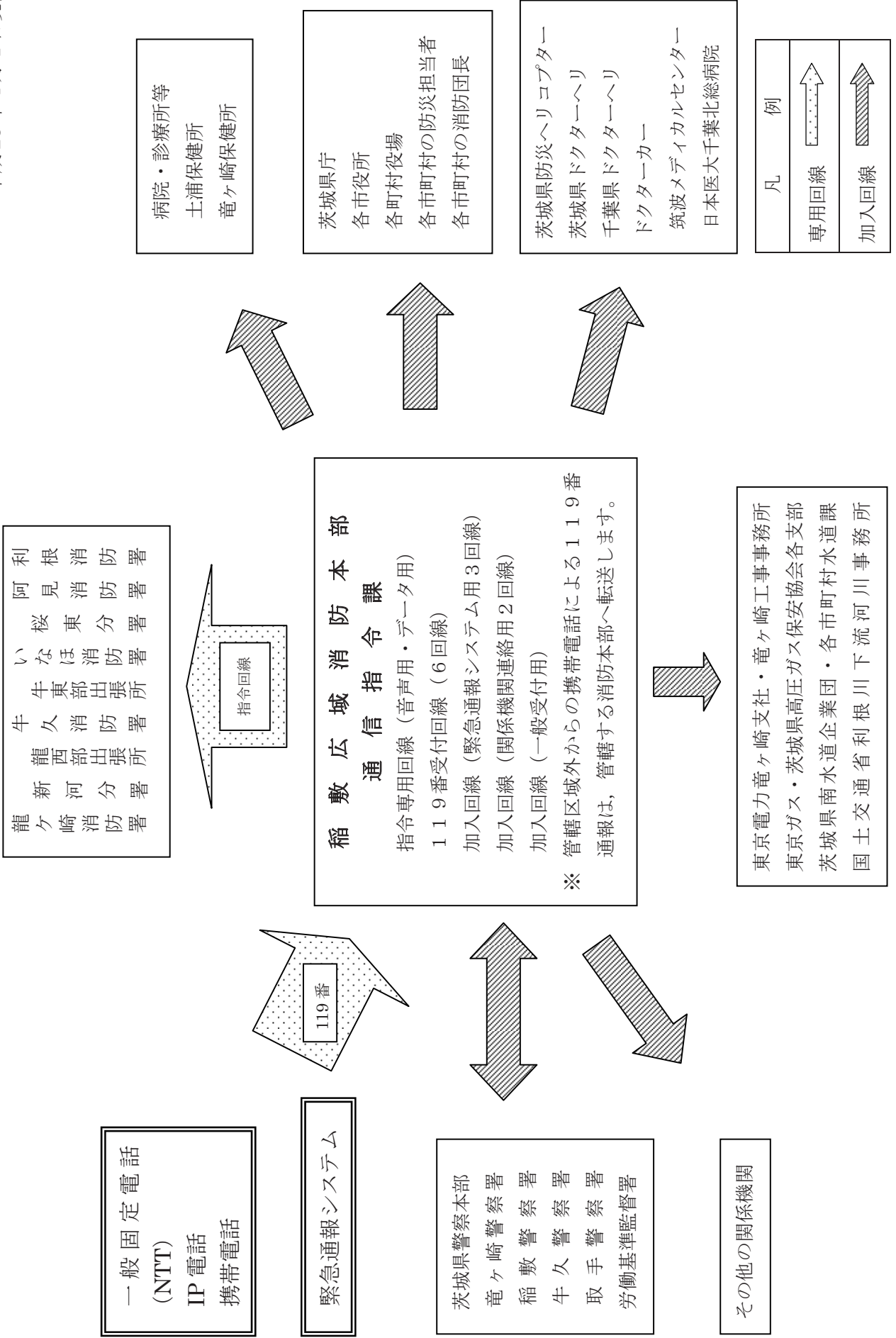
年次 区分	平成25年	平成26年	平成27年
固定電話	1,553	1,768	292
携帯電話	565	576	168
IP 電話	385	327	177
計	2,503	2,671	637

携帯電話からの119番通報は、平成25年中は22.6%、平成26年中は21.6%となり、平成27年中は3月31までを計上する。

(平成27年4月1日から統合により稲敷広域にて受信する)

# 通 信 系 統

平成 28 年 4 月 1 日現在



# 通 信 施 設 状 況

平成 28 年 4 月 1 日現在

装 置 名		数 量	備 考
指 令 装 置	指 令 台	2 台	分離設置型
	自 動 出 動 指 定 装 置	1 式	
	地 図 検 索 装 置	2 台	
	長 時 間 録 音 装 置	1 台	
	非 常 用 指 令 装 置	1 台	
	指 令 制 御 装 置	1 式	
指 揮 台	指 揮 台	1 台	指令台同機能型
	地 図 等 検 索 装 置	1 台	
表 示 盤	車 両 運 用 表 示 盤	1 面	60 型液晶ディスプレイ
	支 援 情 報 表 示 盤	1 面	LED 固定表示方式
	多 目 的 情 報 表 示 装 置	1 面	液晶ディスプレイ 9 面構成
無 線 拡 張 台	無 線 拡 張 台	1 台	遠隔制御器 (3 台)
指 令 伝 送 装 置	指 令 情 報 送 信 装 置	1 式	
気 象 情 報 収 集 装 置		1 式	
災 害 情 報 等 自 動 案 内 装 置		1 式	音声合成連動
順 次 指 令 装 置		1 式	音声合成連動・Eメール対応
音 声 合 成 装 置		1 式	規則・蓄積併用方式
出 動 車 両 運 用 管 理 装 置		1 式	Ⅱ型
シ ス テ ム 監 視 装 置		1 式	
電 源 設 備	無 停 電 電 源 装 置	1 式	5 KVA×2 系統
	直 流 電 源 装 置	1 式	DC-48V
	非 常 用 発 動 発 電 機	1 式	7.5 KVA
	誘 導 雷 防 止 装 置	1 式	
統 合 型 位 置 情 報 受 信 装 置		1 式	
1 1 9 受 信 F A X		1 式	
無 線 設 備		1 式	基地局装置
消 防 情 報 支 援 シ ス テ ム		1 式	
茨 城 県 救 急 医 療 情 報 コ ン ト ロ ー ル 装 置		1 式	茨城県貸与
災 害 弱 者 緊 急 通 報 受 信 装 置		1 式	
茨 城 県 防 災 情 報 ネットワークシステム端末装置		1 式	
大 型 表 示 装 置		1 台	70 型液晶表示装置

## 119番着信件数

区分	月別												合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
一般回線	523	449	469	491	440	452	519	521	497	420	447	440	5,668
携帯電話	523	484	465	519	578	496	584	543	583	524	593	580	6,472
I P 電話	445	387	381	356	408	389	475	390	407	364	393	409	4,804
月 計	1,491	1,320	1,315	1,366	1,426	1,337	1,578	1,454	1,487	1,308	1,433	1,429	16,944

(旧阿見町消防本部件数分合算)

## 災害出場指令件数

区分	月別												合計	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
火 災	22	18	28	21	17	12	23	21	11	14	12	15	214	
救 急	1,142	989	925	1,009	1,016	985	1,144	1,108	1,128	955	1,018	1,126	12,545	
救 助	1	4	2	5	8	3	6	2	8	6	2	1	48	
その他	危険物 排 除	7	4	4	7	11	2	7	5	5	5	9	10	76
	自火報 鳴 動		1	2	2	2		1		1	3			12
	その他	60	51	66	40	42	58	59	73	77	38	44	51	659
月 計	1,232	1,067	1,027	1,084	1,096	1,060	1,240	1,209	1,230	1,021	1,085	1,203	13,554	

※ 救急指令件数には、救急支援及び救急救助指令を含みます。(旧阿見町消防本部件数分合算)

## 無線局一覧表

基地局名称	活動波	共通波	送信出力
いなしきしょうぼう	活動波1 活動波2 活動波4	主運用波5 統制波1, 2, 3	10W
いなしきしょうぼうあみ	活動波2 活動波3 活動波4	主運用波5 統制波1, 2, 3	10W
いなしきしょうぼうたかだ	活動波2 活動波3 活動波4	主運用波5 統制波1, 2, 3	10W

所属	移動局名称(車載, 可搬, 固定型)	車種別	移動局名称(携帯型)	備考
消防本部	いなしき1	指揮車	いなしき101, 102	指揮本部用 通信指令課
	いなしき501			
	いなしきこてい1			
龍ヶ崎消防署	りゅうがさきしき1	指揮車	いなしきかがく101 いなしききゅうじょ101, 102 りゅうがさき101, 102 りゅうがさき103 りゅうがさき104 りゅうがさき105 りゅうがさききゅうきゅう1 りゅうがさききゅうきゅう2 りゅうがさきはんそう1 いなしき301	指揮本部用
	いなしきかがく1	化学車		
	いなしききゅうじょ1	救助工作車		
	りゅうがさき1	水槽付ポンプ車		
	りゅうがさき2	水槽付ポンプ車		
	りゅうがさき3	普通ポンプ車		
	りゅうがさき4	普通ポンプ車		
	りゅうがさききゅうきゅう1	高規格救急車		
	りゅうがさききゅうきゅう2	高規格救急車		
	りゅうがさきはんそう1	資材搬送車		
新河分署	いなしきかがく2	化学車	いなしきかがく201 しんかわ101, 102 しんかわ103 しんかわきゅうきゅう1 しんかわこうほう1 いなしき306	指揮本部用
	しんかわ1	水槽付ポンプ車		
	しんかわ2	普通ポンプ車		
	しんかわきゅうきゅう1	高規格救急車		
	しんかわこうほう1	広報車		
	いなしき306			

所 属	移動局名称(車載, 可搬, 固定型)	車 種 別	移動局名称(携帯型)	備 考
龍ヶ崎西部出張所	りゅうがさき5	水槽付ポンプ車	りゅうがさきせいぶ101	指揮本部用
	りゅうがさききゅうきゅう3	高規格救急車		
	りゅうがさきせいぶこうほう1	広報車		
	いなしききゅうきゅう1	非常用救急車		
	いなしき308			
利根消防署	とねしき1	指揮車		指揮本部用
	とね1	水槽付ポンプ車	とね101, 102	
	とね2	普通ポンプ車	とね103, 104	
	とねきゅうきゅう1	高規格救急車		
	いなしき305			
牛久消防署	うしくしき1	指揮車		指揮本部用
	いなしきはしご1	梯子車	いなしきはしご101	
	うしく1	水槽付ポンプ車	うしく101, 102	
	うしく2	普通ポンプ車	うしく103, 104	
	うしく3	普通ポンプ車	うしく105	
	うしくきゅうきゅう1	高規格救急車		
	うしくきゅうきゅう2	高規格救急車		
	いなしき302			
牛久東部出張所	うしく4	水槽付ポンプ車	うしくとうぶ101	指揮本部用
	うしくきゅうきゅう3	高規格救急車		
	うしくとうぶこうほう1	広報車		
	いなしき3	非常用消防車		
	いなしき309			

所 属	移動局名称(車載, 可搬, 固定型)	車 種 別	移動局名称(携帯型)	備 考
阿見消防署	あみしき1	指揮車		
	いなしききゅうじょ3	救助工作車	いなしききゅうじょ301, 302	
	いなしきはしご3	梯子車	いなしきはしご301	
	あみ1	水槽付ポンプ車	あみ101	
	あみ2	普通ポンプ車	あみ102	
	あみ3	水槽付ポンプ車	あみ103	
	あみきゅうきゅう1	高規格救急車		
	あみきゅうきゅう2	高規格救急車		
	いなしききゅうきゅう2	非常用救急車		
	あみはんそう1	資材搬送車		
	いなしき4	非常用消防車		
	いなしき304			指揮本部用
いなほ消防署	いなほしき1	指揮車		
	いなしききゅうじょ2	救助工作車	いなしききゅうじょ201, 202	
	いなしきはしご2	梯子車	いなしきはしご201	
	いなほ1	水槽付ポンプ車	いなほ101, 102	
	いなほ2	普通ポンプ車	いなほ103	
	いなほきゅうきゅう1	高規格救急車		
	いなほきゅうきゅう2	高規格救急車		
	いなほこうほう1	広報車		
	いなしき303			指揮本部用
桜東分署	おうとう1	水槽付ポンプ車	おうとう101, 102	
	おうとう2	普通ポンプ車	おうとう103	
	おうとうきゅうきゅう1	高規格救急車		
	おうとうこうほう1	広報車		
	おうとうはんそう1	資材搬送車		
	いなしき307			指揮本部用

※ 送信出力 車載型, 可搬型, 固定型(5W) 携帯型(2W)



署活動系携帯無線機(アナログ)

所 属	移動局名称	隊 名	車 種 別
消防本部	いなしき10, 11, 12, 13	稲敷1	指揮車
龍ヶ崎消防署	りゅうがさき10	龍ヶ崎指揮1	指揮車
	いなしきかがく11, 12	稲敷化学第1	化学車
	いなしききゅうじよ11, 12, 13	稲敷救助第1	救助工作車
	りゅうがさき11, 12, 13	龍ヶ崎第1	水槽付ポンプ車
	りゅうがさき21, 22, 23	龍ヶ崎第2	水槽付ポンプ車
	りゅうがさき31, 32, 33	龍ヶ崎第3	普通ポンプ車
	りゅうがさき41, 42, 43	龍ヶ崎第4	普通ポンプ車
新河分署	いなしきかがく21	稲敷化学第2	化学車
	しんかわ11, 12, 13	新河第1	水槽付ポンプ車
	しんかわ21, 22, 23	新河第2	普通ポンプ車
龍ヶ崎西部出張所	りゅうがさき51, 52, 53	龍ヶ崎第5	水槽付ポンプ車
利根消防署	とね10	利根指揮1	指揮車
	とね11, 12, 13	利根第1	水槽付ポンプ車
	とね21, 22, 23	利根第2	普通ポンプ車
牛久消防署	うしく10	牛久指揮1	指揮車
	いなしきはしご11, 12	稲敷梯子第1	梯子車
	うしく11, 12, 13	牛久第1	水槽付ポンプ車
	うしく21, 22, 23	牛久第2	普通ポンプ車
	うしく31, 32, 33	牛久第3	普通ポンプ車
牛久東部出張所	うしく41, 42, 43	牛久4	水槽付ポンプ車
阿見消防署	あみ10	阿見指揮1	指揮車
	いなしききゅうじよ31, 32, 33	稲敷救助第3	救助工作車
	いなしきはしご31, 32	稲敷梯子第3	梯子車
	あみ11, 12, 13	阿見第1	水槽付ポンプ車
	あみ21, 22, 23	阿見第2	普通ポンプ車
	あみ31	阿見第3	水槽付ポンプ車
いなほ消防署	いなほ10	いなほ指揮1	指揮車
	いなしききゅうじよ21, 22, 23	稲敷救助第2	救助工作車
	いなしきはしご21, 22	稲敷梯子第2	梯子車
	いなほ11, 12, 13	いなほ第1	水槽付ポンプ車
	いなほ21, 22, 23	いなほ第2	普通ポンプ車
桜東分署	おうとう11, 12, 13	桜東第1	水槽付ポンプ車
	おうとう21, 22, 23	桜東第2	普通ポンプ車

# 緊急通報システム受信状況

平成 27 年 度

市町村別		龍 ヶ 崎 市	牛 久 市	稲 敷 市	阿 見 町	利 根 町	河 内 町	美 浦 村	合 計
項 目									
緊急 シ ス テ ム	加 入 件 数	403	142	204	135	57	69	73	1,083
	発 報 累 計	814	288	361	286	335	284	107	2,475
	取 消 件 数	44	24	33	12	7	7	11	138
	新 規 件 数	31	13	9	8	9	4	10	84
救急出場(緊急通報)		36	21	26	17	8	60	18	186
誤 報(緊急通報)		141	24	99	29	34	52	32	411
安 否 確 認	消 防 車 出 場	10	5	7	6	5	42	2	77
	協 力 員 等 出 向	0	1	1	0	0	6	0	8
電 池 切 れ	通 報(停電含む)	97	32	59	108	13	13	21	343
	協 力 員 等 出 向 (消防職員含まず)	9	5	6	0	3	0	4	27
テ ス ト 通 報		516	187	149	24	265	81	31	1,253
相 談		2	4	11	0	3	2	0	22
そ の 他 ( 誤 報 内 訳 )		22	20	17	108	12	76	5	260

# 気象警報注意報発令調べ

通信指令課観測

種別	区分	月別												計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
特別警報	大雨特別警報 (浸水害)													
	大雨特別警報 (土砂災害)													
	暴風雨特別警報													
	緊急地震速報 (特別警報)													
	その他特別警報													
警報	暴風警報													
	大雨警報						1	1	5	5				12
	水防警報													
	洪水警報						1	1	3	3				8
	大雪警報													
	竜巻警報													
	地震・津波警報													
注意報	強風注意報	10	7	6	6	2		1	1		3	5	2	43
	大雨注意報	1		2	1	1	6	4	7	7	2	2	1	34
	大雪注意報													
	雷注意報	3	2	5	4	3	8	14	14	8	3	4	2	70
	洪水注意報	1		2	1	1	6	3	7	8	3	1	1	34
	乾燥注意報	5	3	5		2					2		5	22
	濃霧注意報	1	5	4	9	8	15	15	9	4	2	8	2	82
	霜注意報				8	1					1	4		14
	低温注意報	14	7										2	23
	竜巻注意報													
	大雪着雪注意報													
	大雪着氷注意報													
	大雪風雪注意報													
合計	35	24	24	29	18	37	39	46	35	16	24	15	342	

※ 緊急地震速報の特別警報は震度6弱以上

※ その他の特別警報内訳 高潮 波浪 暴風雪 大雪 噴火

月別風速・気温・湿度・雨量調

風 速 (m/s)

通信指令課観測

月 別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最大風速	7 m/s未満	4	5	1	4	1	5	6	3	6	8	10	13
	7 m/s以上 1 0 m/s未満	10	12	12	6	13	18	16	18	18	7	11	10
	1 0 m/s以上 1 5 m/s未満	3	6	13	12	10	6	3	7	4	10	9	6
	1 5 m/s以上	14	5	5	8	7	1	6	3	2	6	0	2
平 均 風 速		3.0	2.5	2.8	3.0	2.8	2.4	2.5	2.9	2.5	2.5	2.0	1.9

気 温 (°C)

通信指令課観測

月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最 高	16.1	16.2	22.1	27.3	29.3	30.6	35.5	36.3	30.2	27.9	22.5	22.8
最 低	-3.4	-4.4	-1.7	1.8	8.6	13.2	17.8	18.2	14.7	7.0	1.8	-2.3
平 均	4.6	4.3	8.9	13.3	19.8	21.3	25.4	25.1	21.8	17.2	12.8	7.8

湿 度 (%)

通信指令課観測

月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最 高	98.7	98.9	98.8	99.1	99.0	99.1	99.1	98.3	98.0	97.9	98.3	98.2
最 低	30.4	23.3	22.2	38.6	25.3	31.3	49.1	42.7	26.6	22.9	26.7	23.7
平 均	71.6	78.2	76.5	86.5	79.9	88.0	90.5	83.1	84.0	74.6	84.2	72.7

雨 量 (mm)

通信指令課観測

月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
総雨量	82.0	54.5	79.0	124.0	53.5	161.0	163.0	103.0	255.0	59.5	121.5	38.0

# 火災



● 総務省消防庁消防研究センターとの合同火災原因調査



## 火災原因調査

火災原因調査は、起きてしまった火災の原因を突き止めるばかりでなく、類似火災の防止策を講じる目的も有しています。当消防本部では、火災原因調査にあたり、再現実験の実施や総務省消防庁消防研究センターの技術支援を仰いでの合同調査を実施し、徹底した原因の究明に努めています。また、調査により得られた結果を職員研修により周知し、火災原因調査技術の向上、人材の育成に取り組んでいます。

### ●職員研修（火災事例発表）



## 火災統計上の参考事項

### 1 火災の定義

「火災」とは、人の意図に反して発生し若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。

### 2 火災の種類

火災は、次の6種に分類する。ただし、火災が2種以上にわたった場合は、原則として焼き損害額の大きなものの種別による。

#### (1) 建物火災

建物又はその収容物が焼損した火災をいう。

#### (2) 林野火災

林野、原野又は牧野が焼損した火災をいう。

#### (3) 車両火災

自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。

#### (4) 船舶火災

船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。

#### (5) 航空機火災

航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。

#### (6) その他の火災

(1)から(5)までに掲げる火災以外の火災(空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積場、軌道敷、電柱類等の火災)をいう。

### 3 火災損害

「火災損害」とは、火災によって受けた直接的な損害をいい、「焼き損害」、「消火損害」、「爆発損害」、「人的損害(火災による死者及び負傷者)」に区分する。「焼き損害」とは、火災によって焼けた物及び熱によって破損した物等の損害をいい、「消火損害」とは、消火活動によって受けた水損、破損、汚損等の損害をいい、「爆発損害」とは、爆発現象の破壊作用によって発生した損害のうち、「焼き損害」、「消火損害」以外の損害をいい、消火のために要した経費、焼跡整理費、火災のための休業による損失等の間接的な損害を除く。

損害額は、り災時における時価により算定することとし、「人的損害」はこれに含めない。

### 4 焼損の程度

一の建物の焼損程度の区分の基準は、次のとおりである。

#### (1) 全焼

建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の70%以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。



(2) 半焼

建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 20%以上のもので全焼に該当しないものをいう。

(3) 部分焼

建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 20%未満のもの又は建物の収容物のみ焼損したものでぼやに該当しないものをいう。

(4) ぼや

建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 10%未満であり焼損床面積が 1 m<sup>2</sup>未満のもの、建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 10%未満であり焼損表面積が 1 m<sup>2</sup>未満のもの、又は収容物のみ焼損したものをいう。

## 5 り災世帯

り災世帯については、り災の程度により、次のとおり区分する。

(1) 全損

建物(収容物を含む。以下のこの項において同じ)の火災損害額がり災前の建物の評価額の 70%以上のものをいう。

(2) 半損

建物の火災損害額がり災前の建物の評価額の 20%以上で、全損に該当しないものをいう。

(3) 小損

建物の火災損害額がり災前の建物の評価額の 20%未満のものをいう。

## 6 死者・負傷者

「死者」又は「負傷者」とは、火災現場において火災に直接起因して、死亡した者(病死者を除く。)又は負傷した者をいう。この場合消防吏員及び消防団員については、火災を覚知した時より現場を引き揚げるまでの間に死亡した者又は負傷した者をそれぞれ死者または負傷者とする。また、火災により負傷した後 48 時間以内に死亡したものは、火災による死者とする。

## 7 出火原因

出火原因は、発火源、経過及び着火物の 3 つに区分する。なお、昭和 44 年以降は、発火源については、電気機器に電気冷蔵庫を加え、移動可能なガス道具及び固定したガス設備をそれぞれ都市ガスを用いるものと液化石油ガスを用いるものとに細分するとともに、着火物については、ガス類に液化石油ガスを加えた。

## 火 災 概 況

区分		平成 2 5 年	平成 2 6 年	平成 2 7 年	前年比
項目					
<b>火 災 件 数 (件)</b>		<b>106</b>	<b>100</b>	<b>99</b>	<b>△1</b>
火災種別	建 物 (件)	58	57	52	△5
	林 野 (件)	8	4	7	3
	車 両 (件)	12	19	18	△1
	船 舶 (件)				
	航 空 機 (件)				
	そ の 他 (件)	28	20	22	2
焼損棟数	合 計 (棟)	91	86	98	12
	全 焼 (棟)	33	37	46	9
	半 焼 (棟)	8	1	4	3
	部 分 焼 (棟)	25	21	23	2
	ぼ や (棟)	25	27	25	△2
焼損面積	建 物 (床㎡)	4, 166	3, 401	4, 983	1, 582
	建 物 (表㎡)	454	184	1, 168	984
	林 野 (a)	124	140	23	△117
	車 両 (台)	18	33	30	△3
罹 災 世 帯 数 (世帯)		47	45	54	9
罹 災 人 員 (人)		106	118	140	22
死傷者	死 者 (人)	5	5	3	△2
	負 傷 者 (人)	8	11	16	5
損 害 額 (千円)		271, 194	268, 674	319, 530	50, 856

(旧阿見町消防本部件数分合算)

市 町 村 別 火 災 概 要

種 別		市町村別							
		龍 ヶ 崎 市	牛 久 市	稲 敷 市	阿 見 町	利 根 町	河 内 町	美 浦 村	合 計
合 計		18	23	20	19	9	4	6	99
建 物		10	12	10	8	5	3	4	52
林 野		2	1	2		2			7
車 両		5	4	3	4		1	1	18
船 舶									
航 空 機									
そ の 他		1	6	5	7	2		1	22
建 物 焼 損 棟 数	合 計	16	12	23	11	15	15	6	98
	全 焼	7	1	10	7	7	10	4	46
	半 焼	1	2			1			4
	部分焼	3	2	9	2	2	4	1	23
	ぼ や	5	7	4	2	5	1	1	25
建 物 焼 損 面 積 (㎡)	床面積	932	232	1,533	843	251	948	244	4,983
	表面積	49	6	877	8	96	115	17	1,168
林 野 (a)		10	2	10		1			23
車 両 (台)		12	4	6	4	1	1	2	30
火災損害額 (千円)		78,497	26,368	84,085	50,729	9,084	44,582	26,185	319,530
罹 災 状 況	世 帯	10	12	9	8	5	4	6	54
	人 員	24	34	28	19	13	7	15	140
死 傷 者	死 者				3				3
	負 傷 者	6	6	2	2				16

### 月別火災種別

種別 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
建物火災	6	3	4	6	4	4	4	7	3	3	4	4	52
林野火災	2	2	2									1	7
車両火災	6		2	2		2	2		1	1	1	1	18
船舶火災													
航空機火災													
その他の火災	1	3	8	2	3	2	1	1	1				22
合計	15	8	16	10	7	8	7	8	5	4	5	6	99

(旧阿見町消防本部件数分合算)

### 曜日別火災種別

種別 \ 曜日別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合計
建物火災	14	8	12	6	5	4	3	52
林野火災	1	2	2			1	1	7
車両火災	1	3	2	1	4	2	5	18
船舶火災								
航空機火災								
その他の火災	4	1	6	3	3	3	2	22
合計	20	14	22	10	12	10	11	99

(旧阿見町消防本部件数分合算)

### 時間帯別火災種別

種別 \ 時間帯	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	計
建物火災	3	2	2			2	2	2	2	3	4	3	5	2	7	3	1	4	1	2	1			1	52
林野火災				1							2	1	1		1		1								7
車両火災		1							1	3	2	1	1			2	1	1	1	2	1				17
船舶火災																									
航空機火災																									
その他の火災		1		2						3		1	2	1	4	2			2				1		19
合計	3	4	2	3		2	2	2	3	9	8	6	9	3	12	7	3	5	4	4	2	1		1	95

(旧阿見町消防本部件数分合算) 不明4件

## 火災種別出火原因

火災種別 出火原因	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機 火災	その他の 火災	合 計
たばこ	2					1	3
こんろ	8						8
こんろ(天ぷら)							
かまど							
風呂かまど							
炉							
焼却炉							
ストーブ	2						2
こたつ							
ボイラー							
煙突・煙道							
排気管			2			1	3
電気機器	1						1
電気装置			2				2
電灯・電線等の配線	2					1	3
内燃機関							
配線器具	6						6
火遊び	2						2
マッチ・ライター			1			1	2
たき火	2	1				2	5
溶接機・溶断機						1	1
灯火							
衝突の火花			2				2
取灰							
火入れ							
放火		1	1			1	3
放火の疑い	4					3	7
その他	5	4	5			7	21
不明	18	1	5			4	28
合 計	52	7	18			22	99

(旧阿見町消防本部件数分合算)

過去 5 年間の火災原因状況

順位 年・件数	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
平成 27 年 総件数 99 件	放火 (疑い含む) 10 件	こんろ 8 件	電灯等の配線 6 件	配線器具 6 件	たき火 5 件
平成 26 年 総件数 100 件	放火 (疑い含む) 27 件	たばこ 7 件	電灯等の配線 7 件	電気装置 4 件	こんろ 4 件
平成 25 年 総件数 106 件	放火 (疑い含む) 29 件	たき火 10 件	こんろ (天ぷら含む) 6 件	たばこ 5 件	電灯等の配線 4 件
平成 24 年 総件数 90 件	こんろ (天ぷら含む) 13 件	放火 (疑い含む) 11 件	たき火 5 件	たばこ ストーブ 各 3 件	内燃機関 外 3 原因 各 2 件
平成 23 年 総件数 101 件	たき火 16 件	放火 (疑い含む) 15 件	こんろ (天ぷら含む) 13 件	ストーブ 6 件	電灯等の配線 4 件

(旧阿見町消防本部件数分合算)

過去 10 年間の火災件数推移

種別 年別	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	航 空 機 火 災	そ の 他 の 火 災	合 計
平成 18 年	80	5	13			15	113
平成 19 年	67	6	7			33	113
平成 20 年	67	6	20			31	124
平成 21 年	71	2	9			20	102
平成 22 年	73	4	8			24	109
平成 23 年	61	7	13			20	101
平成 24 年	59	4	10			17	90
平成 25 年	58	8	12			28	106
平成 26 年	57	4	19			20	100
平成 27 年	52	7	18			22	99

(旧阿見町消防本部件数分合算)

# 救 急



●救急隊員研修会





## 各種救急訓練・事例検討会の紹介

平成 26 年中の全国での救急出動件数は 598 万件と過去最多の記録を更新し、今後も高齢化社会の進展から増加することが予想される中、救急隊員の知識や技術等の質の向上も求められる。その期待に応えるため下記の訓練等を行っているので紹介します。

### <救急隊員研修会>

昨年度は、初期評価等研修及び救急活動想定訓練を開催しました。



初期評価等研修



稲敷地区MC指導医の助言による  
救急活動想定訓練

### <救急事例検討会>

昨年度は 2 回開催し、うち 1 回は医療機関の医師及び近隣消防本部職員を招きました。



事後検証会で推奨及び指摘事例  
の事例検討会です。



日本医科大学千葉北総病院医師による  
ドクターヘリの事例検討会です。

### <多数傷病者対応訓練>

管内の現場を想定し、大型バス事故の多数傷病者を想定した机上訓練です。



## ドクターヘリ及びドクターカーの紹介

<ドクターヘリ> 千葉県ドクターヘリは、茨城県と千葉県の共同利用事業として、平成 16 年 7 月 1 日から当広域圏で運航が開始されました。また、茨城県でも平成 22 年 7 月から独自のドクターヘリが運航開始されました。

<ドクターカー> ドクターカーは、平成 22 年 9 月 1 日から筑波メディカルセンター病院保有の乗用車型ドクターカーが当広域圏で運行開始され、翌年の平成 23 年 9 月 9 日から日本医科大学千葉北総病院保有のドクターカーも運行開始されました。

### ○ 千葉県ドクターヘリ

**基地病院** 日本医科大学千葉北総病院  
(千葉県印西市)



### ○ 茨城県ドクターヘリ

**基地病院** 水戸済生会総合病院 (水戸市双葉台)  
国立病院機構水戸医療センター(茨城県)  
\*2 病院が交代制で運用する。



平成 27 年の運用数

	龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村	合 計
千葉Drヘリ	14	13	24		4	7	2	64 回
茨城Drヘリ	1	2	2	3	1		1	10 回
合 計	15	15	26	3	5	7	3	74 回

(旧阿見町消防本部件数分合算)

### ○ 北総ドクターカー

**基地病院** 日本医科大学千葉北総病院



### ○ 筑波メディカルドクターカー

**基地病院** 筑波メディカルセンター病院



平成 27 年の運用数

	龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村	合 計
北総Drカー	1		1		1	1		4 回
筑波Drカー	1	2	1					4 回
合 計	2	2	2		1	1		8 回

(旧阿見町消防本部件数分合算)

## 応急手当ボランティア指導員の紹介

応急手当ボランティア指導員とは、応急手当普及員や応急手当指導員の資格を取得し消防機関の開催する救命講習会等に指導協力を希望する市民の方々です。



応急手当ボランティア指導員の登録者数は現在、52名です。

各事業所や学校等で開催する救命講習会に指導員としてご協力いただいております。

## 稲敷地区メディカルコントロール協議会の紹介

「稲敷地区メディカルコントロール協議会」（略語：稲敷MC協議会）とは

消防本部と医療機関等で構成されており、その目的として、①救急隊が現場からいつでも迅速に、医師から指示・指導・助言を要請することができ、②実施した救急活動の医学的判断、処置の適切性について医師による事後検証が行われるとともに、その結果が再教育に活用され、③救急救命士の資格取得後の再教育として、医療機関において病院実習が行われる体制を作り、救急及び救急医療の質向上を図るよう活動しています。

### 協議会の活動

#### ・事後検証会

稲敷MC協議会の医師が、C P A（心肺停止）、特異な救急案件について消防で作成した一次検証を医学的な立場から検証し、毎月行う事後検証会で数例を選抜して救急隊員に指導、助言等のフィードバックを行っています。



事後検証会風景

#### ・教育研修会

教育研修会会議において、医師、看護師等の病院関係者及び救急隊員で年間の教育コースを決定し、一次救命処置講習(BLS)、二次救命処置講習(ICLS)、病院前外傷処置講習(JPTEC)、脳卒中病院前救護講習(PSLS)、多数傷病者対応講習(MCLS)等を企画立案して技術の向上を図っています。

市町村別救急出場状況(件数)

事故種別	市町村別	龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村	圏外	合計
火災		34	31	23	11	4	4	10		117
自然災害				1						1
水難事故		2		3		2	1		2	10
交通事故		346	367	211	238	44	44	38	1	1,289
労働災害		22	27	47	16	7	6	13	1	139
運動競技		32	24	12	17	1	1	6		93
一般負傷		434	406	281	300	92	71	90	1	1,675
加害事故		21	11	4	11	1	1	1		50
自損行為		26	30	20	14	4	6	6	1	107
急病		2,000	2,294	1,495	1,274	500	338	510	2	8,413
その他	転院	158	203	120	127	13		62		683
	医師搬送									
	資機材搬送									
	その他	19	25	10	21	4	15	5		99
<b>計</b>	<b>3,094</b>	<b>3,418</b>	<b>2,227</b>	<b>2,029</b>	<b>672</b>	<b>487</b>	<b>741</b>	<b>8</b>	<b>12,676</b>	

(旧阿見町消防本部件数分合算)

月別救急出場状況(件数)

事故種別	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災		9	5	10	9	8	9	12	13	5	12	12	13	117
自然災害										1				1
水難事故					1		3	1	1	2	2			10
交通事故		109	112	95	108	127	93	128	81	112	99	118	107	1,289
労働災害		17	9	13	12	11	10	17	12	12	10	6	10	139
運動競技		4	11	4	5	8	10	9	13	15	3	6	5	93
一般負傷		126	137	114	139	142	141	141	147	133	153	144	158	1,675
加害事故		6		3	8	5	3	5	3	4	7	1	5	50
自損行為		6	10	13	10	6	9	9	5	10	8	5	16	107
急病		822	643	631	680	659	643	777	781	705	614	695	763	8,413
その他	転院	62	68	57	50	54	69	59	58	51	57	45	53	683
	医師搬送													
	資機材搬送													
	その他	9	9	10	8	6	8	9	7	7	12	7	7	99
<b>計</b>	<b>1,170</b>	<b>1,004</b>	<b>950</b>	<b>1,030</b>	<b>1,026</b>	<b>998</b>	<b>1,167</b>	<b>1,121</b>	<b>1,057</b>	<b>977</b>	<b>1,039</b>	<b>1,137</b>	<b>12,676</b>	

(旧阿見町消防本部件数分合算)

### 事故種別年齢区分搬送状況(人員数)

事故種別 年齢区分	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
新生児							2			8	23	<b>33</b>
乳幼児			1	34		1	131	2		358	22	<b>549</b>
少年	2			157	1	64	67		4	203	15	<b>513</b>
成人	13			780	115	28	354	33	54	2,417	256	<b>4,050</b>
老人	5			344	21	2	1,033	9	18	4,901	371	<b>6,704</b>
<b>計</b>	<b>20</b>		<b>1</b>	<b>1,315</b>	<b>137</b>	<b>95</b>	<b>1,587</b>	<b>44</b>	<b>76</b>	<b>7,887</b>	<b>687</b>	<b>11,849</b>

(旧阿見町消防本部件数分合算)

### 事故種別傷病程度別搬送状況(人員数)

事故種別 程度区分	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
死亡				1			9		16	190	3	<b>219</b>
重症	3		1	45	17		79		10	641	172	<b>968</b>
中等症	4			135	50	18	442	5	24	3,004	414	<b>4,096</b>
軽症	13			1,132	70	77	1,057	39	26	4,049	98	<b>6,561</b>
その他				2						3		<b>5</b>
<b>計</b>	<b>20</b>		<b>1</b>	<b>1,315</b>	<b>137</b>	<b>95</b>	<b>1,587</b>	<b>44</b>	<b>76</b>	<b>7,887</b>	<b>687</b>	<b>11,849</b>

(旧阿見町消防本部件数分合算)

### 救急隊員の行った応急処置件数調

事故種別	応急処置 区分 対象 人員 処置	止 血	固 定	人工呼 吸	胸骨圧迫		心肺蘇生		酸素吸 入	気道確保				保 温	被 服	
					うち 自動	うち 自動	*1	*2		*3	*4					
急病	7779	30	31	126			247	45	1703	393	1	14	64	8	5751	42
交通事故	1298	51	906	3			4		104	7			1		723	226
一般負傷	1554	111	267	4			13	2	97	17		6	5	2	965	367
その他	1033	44	132	9			23	2	260	27			4	1	727	106
<b>計</b>	<b>11664</b>	<b>236</b>	<b>1336</b>	<b>142</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>287</b>	<b>49</b>	<b>2164</b>	<b>444</b>	<b>1</b>	<b>20</b>	<b>74</b>	<b>11</b>	<b>8166</b>	<b>741</b>

事故種別	応急処置 区分	在宅療法継続			除 細 動	静 脈 路 確 保 (輸 液)	薬 剤 投 与	応 急 の 他 処 置	血 圧 測 定	心 音・ 聴 診 器 に よ る 呼 吸 音 の 聴 取	度 酸 の 素 測 飽 定 和	心 電 図 測 定	者 シ ョ ッ ク 患 者 へ の 輸 液	血 糖 測 定	投 与 エ ピ ネ フ リン	投 与 ブ ロ ウ ン グ 糖
		*A	*B	*C												
急病	66	5	12	53	31	103	21	6382	7184	7344	7411	5379	6	18	1	3
交通事故						2		863	1256	1176	1277	304	1			
一般負傷	3			3		5	1	1146	1434	1378	1510	427		2		
その他	11	8		3	3	9		768	933	897	978	505		1		
<b>計</b>	<b>80</b>	<b>13</b>	<b>12</b>	<b>59</b>	<b>34</b>	<b>119</b>	<b>22</b>	<b>9159</b>	<b>10807</b>	<b>10795</b>	<b>11176</b>	<b>6615</b>	<b>7</b>	<b>21</b>	<b>1</b>	<b>3</b>

(旧阿見町消防本部件数分合算)

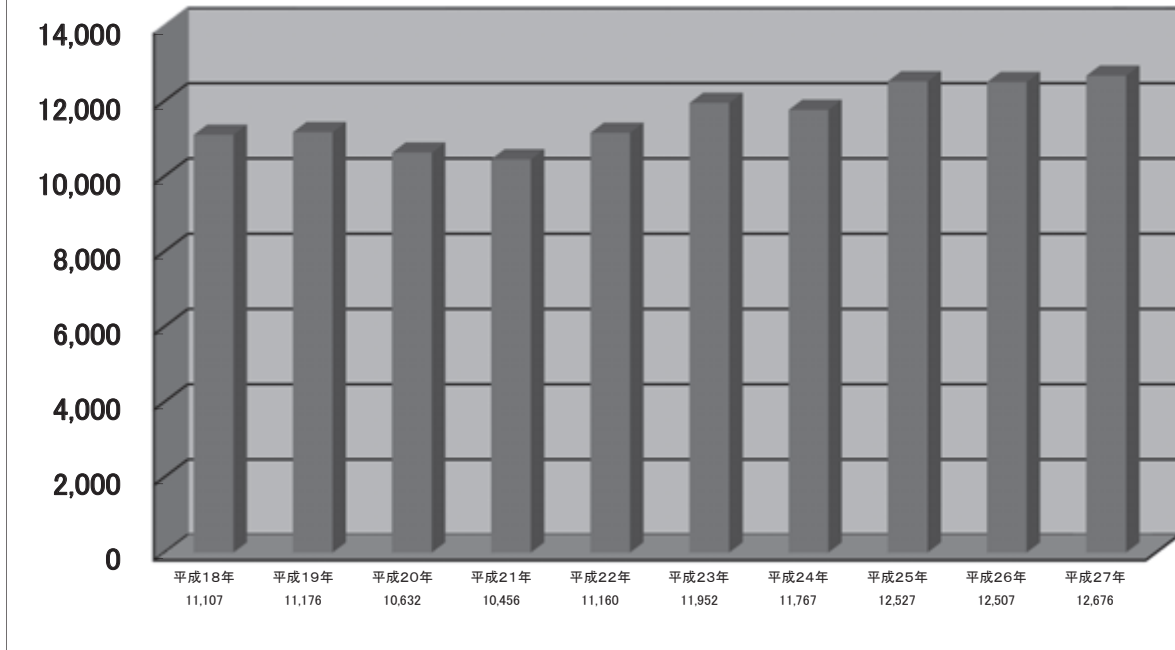
- \* 1、用手及び経鼻エアウェイ等を使用して気道確保を行った件数を内数として記載
- \* 2、喉頭鏡・鉗子等による異物除去を行った件数を内数として記載
- \* 3、救急救命士がラリングアルマスク等を使用して気道確保を行った件数を内数として記載
- \* 4、救急救命士が気管内挿管を行った件数を内数として記載
- \* A、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対し応急処置等を行った件数を内数として記載
- \* B、気管切開孔又は気道瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対して応急処置等を行った件数を内数として記載
- \* C、\* A・\* B以外の傷病者に対し応急処置等を行った件数を内数として記載

### 市町村別救急発生状況推移

市町村名	年 別	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成
	区 分	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
龍ヶ崎市	出場件数	3,036	2,928	2,804	2,739	2,847	3,060	3,113	3,322	3,297	3,094
	搬送件数	2,830	2,734	2,596	2,518	2,633	2,829	2,891	3,105	3,064	2,856
	搬送人員	2,889	2,796	2,656	2,573	2,684	2,879	2,933	3,155	3,111	2,891
牛久市	出場件数	2,638	2,758	2,707	2,549	2,778	3,033	3,012	3,100	3,204	3,418
	搬送件数	2,491	2,586	2,514	2,346	2,599	2,825	2,807	2,886	2,989	3,129
	搬送人員	2,558	2,660	2,591	2,407	2,652	2,875	2,849	2,933	3,021	3,184
稲敷市	出場件数	2,111	2,212	1,923	2,036	2,111	2,165	2,102	2,299	2,211	2,227
	搬送件数	1,969	2,095	1,823	1,912	1,982	2,007	1,961	2,142	2,049	2,084
	搬送人員	2,007	2,147	1,860	1,981	2,038	2,036	1,996	2,182	2,088	2,118
阿見町	出場件数	1,640	1,580	1,551	1,537	1,653	1,869	1,736	1,872	1,917	2,029
	搬送件数	1,536	1,471	1,443	1,399	1,516	1,728	1,592	1,711	1,723	1,862
	搬送人員	1,578	1,511	1,457	1,427	1,536	1,753	1,621	1,737	1,752	1,888
利根町	出場件数	587	560	527	573	591	676	663	636	693	672
	搬送件数	544	527	497	541	552	620	616	589	634	619
	搬送人員	551	530	500	547	559	624	625	596	647	624
河内町	出場件数	436	419	399	414	445	454	446	495	468	487
	搬送件数	400	388	375	374	422	419	417	456	427	442
	搬送人員	414	395	386	384	430	424	426	461	430	443
美浦村	出場件数	636	718	712	600	722	685	680	797	705	741
	搬送件数	599	673	654	560	667	657	645	757	665	692
	搬送人員	605	685	665	568	674	663	655	767	673	698
圏外	出場件数	23	1	9	10	13	10	15	6	12	8
	搬送件数	15		6	7	12	7	11	6	9	3
	搬送人員	17		6	7	13	7	12	8	9	3
総合計	出場件数	<b>11,107</b>	<b>11,176</b>	<b>10,632</b>	<b>10,458</b>	<b>11,160</b>	<b>11,952</b>	<b>11,767</b>	<b>12,527</b>	<b>12,507</b>	<b>12,676</b>
	搬送件数	<b>10,384</b>	<b>10,474</b>	<b>9,908</b>	<b>9,657</b>	<b>10,383</b>	<b>11,092</b>	<b>10,940</b>	<b>11,652</b>	<b>11,560</b>	<b>11,687</b>
	搬送人員	<b>10,619</b>	<b>10,724</b>	<b>10,121</b>	<b>9,894</b>	<b>10,586</b>	<b>11,261</b>	<b>11,117</b>	<b>11,839</b>	<b>11,731</b>	<b>11,849</b>

(旧阿見町消防本部件数分合算)

### 救急出場件数推移



(旧阿見町消防本部件数分合算)

### 救命講習実施状況

普通救命講習Ⅰ		普通救命講習Ⅱ		普通救命講習Ⅲ		上級救命講習		その他の講習	
回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
197	2,714	7	60	21	194	8	35	79	3,098

救命入門コース		合計	
回数	受講者数	回数	受講者数
35	485	347	6,586

(旧阿見町消防本部件数分合算)



## 救急蘇生の状況

救急搬送された心肺機能停止傷病者に関する統計です。

### 心肺機能停止の症例

平成26年中

全心肺停止	316件	
蘇生施行事案	316件	
心原性	目撃あり	69件
231件	目撃なし	162件
非心原性	85件	

平成26年中

心原性でかつ心肺機能停止時点の目撃あり		
69件	1ヶ月生存	
	6件	生存率 8.7%

(旧阿見町消防本部件数分合算)

### 心肺機能停止の症例

平成27年中

全心肺停止	297件	
蘇生施行事案	295件	
心原性	目撃あり	72件
220件	目撃なし	148件
非心原性	77件	

平成27年中

心原性でかつ心肺機能停止時点の目撃あり		
72件	1ヶ月生存	
	6件	生存率 8.3%

(旧阿見町消防本部件数分合算)

#### <非心原性に属するもの>

- ・外因による死亡はすべて非心原性とする。  
外傷， 縊頸， 窒息， 溺水， 薬物中毒等
- ・内因による死亡のうち， 不全臓器や疾患が特定できるもの。  
中枢神経系：脳血管障害， くも膜下出血， 脳腫瘍等， 呼吸器系：気管支喘息， 肺炎等  
大血管系：大動脈解離・破裂， 肺動脈血栓塞栓症等， 消化器系：消化管出血， 肝不全等
- ・悪性腫瘍の末期状態      ・乳児突然死症候群

#### <心原性に属するもの>

- ・明らかな心疾患が原因のもの
- ・非心原性以外のもの
- ・老衰は除外診断の心原性とする。
- ・浴槽内での心停止は明らかに溺死と判断できる場合を除き， 除外診断に基づく心原性とする。



# 管内消防団



● 消防団幹部研修会



# 管内消防団の状況

平成 28 年 4 月 1 日現在

区 分		龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村
発足年月日		S29. 3. 20	S29. 4. 1	H17. 3. 22	S30. 4. 1	S30. 1. 1	S38. 4. 1	S41. 3. 14
組 織 体 制	団 長	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名
	副 団 長	4 名	4 名	16 名	3 名	5 名	4 名	4 名
	指 導 員	6 名	2 名	11 名	6 名	2 名	8 名	5 名
	分 団 長	11 名	28 名	80 名	15 名	16 名	15 名	10 名
	副分団長	7 名	0 名	80 名	15 名	16 名	17 名	0 名
	部 長	33 名	29 名	80 名	16 名	16 名	17 名	18 名
	班 長	108 名	108 名	191 名	52 名	41 名	34 名	37 名
	団 員	351 名	314 名	901 名	233 名	97 名	232 名	222 名
消防団員総数		521 名	486 名	1360 名	341 名	194 名	328 名	297 名
車 両 装 備	普通ポンプ車	10 台	8 台	9 台	16 台	6 台	0 台	6 台
	小型動力ポンプ	0 台	1 台	8 台	0 台	0 台	0 台	0 台
	小型動力積載車	22 台	22 台	70 台	15 台	9 台	13 台	14 台
	多機能消防車	1 台	1 台	0 台	1 台	0 台	1 台	0 台
	司令車等	5 台	2 台	5 台	1 台	1 台	1 台	1 台
年 齢 別 状 況	20 歳未満	5 名	0 名	4 名	0 名	2 名	1 名	1 名
	20 歳～25 歳未満	18 名	11 名	71 名	4 名	10 名	11 名	10 名
	25 歳～30 歳未満	31 名	26 名	209 名	37 名	18 名	39 名	41 名
	30 歳～35 歳未満	69 名	55 名	395 名	52 名	15 名	47 名	76 名
	35 歳～40 歳未満	116 名	113 名	364 名	77 名	40 名	66 名	99 名
	40 歳～45 歳未満	119 名	99 名	203 名	83 名	47 名	75 名	46 名
	45 歳～50 歳未満	93 名	94 名	81 名	67 名	30 名	50 名	15 名
	50 歳～55 歳未満	36 名	57 名	22 名	8 名	13 名	25 名	6 名
	55 歳～60 歳未満	22 名	20 名	6 名	8 名	6 名	11 名	1 名
60 歳以上	12 名	11 名	5 名	5 名	13 名	3 名	2 名	
勤 続 年 数 別 状 況	5 年未満	142 名	112 名	337 名	86 名	46 名	58 名	69 名
	5 年～10 年未満	75 名	70 名	406 名	74 名	51 名	58 名	85 名
	10 年～15 年未満	97 名	79 名	341 名	75 名	30 名	64 名	66 名
	15 年～20 年未満	109 名	91 名	176 名	60 名	34 名	77 名	57 名
	20 年～25 年未満	55 名	77 名	70 名	34 名	21 名	47 名	14 名
	25 年～30 年未満	31 名	35 名	22 名	9 名	9 名	16 名	3 名
30 年以上	12 名	22 名	8 名	3 名	3 名	8 名	3 名	

## 各消防団の事務局

消 防 団 別	事 務 局 の 位 置 等
龍ヶ崎市消防団	龍ヶ崎市 3710 番地 危機管理室 消防防災 G
牛久市消防団	牛久市中央 3 丁目 15 番地 1 市民部交通防災課危機管理消防防災 G
稲敷市消防団	稲敷市犬塚 1570 番地 1 総務部危機管理課消防防災係
阿見町消防団	稲敷郡阿見町中央 1 丁目 1 番 1 号 町民生活部 交通防災課 消防係
利根町消防団	利根町大字布川 841 番地 1 総務課 消防交通係
河内町消防団	河内町源清田 1183 河内町役場 総務課
美浦村消防団	稲敷郡美浦村大字受領 1515 総務部総務課 消防防災係



## 所在地一覽



署所名	所在地	電話番号
稲敷広域消防本部	〒301-0837 龍ヶ崎市3571番地の1	TEL 0297-64-3743(代表) FAX 0297-64-3746
龍ヶ崎消防署	〒301-0822 龍ヶ崎市1759番地	TEL 0297-62-5131 FAX 0297-62-5138
新河分署	〒300-1312 稲敷郡河内町長竿5765番	TEL 0297-84-0119 FAX 0297-84-3192
西部出張所	〒301-0007 龍ヶ崎市馴柴町1区23番地の2	TEL 0297-66-0119 FAX 0297-66-8473
牛久消防署	〒300-1233 牛久市栄町4丁目1番地	TEL 029-873-0119 FAX 029-871-4181
東部出張所	〒300-1288 牛久市久野町798番地1	TEL 029-875-0119 FAX 029-875-0219
いなほ消防署	〒300-0507 稲敷市犬塚1570番地2	TEL 029-892-0119 FAX 029-892-1239
桜東分署	〒300-0737 稲敷市上須田355番1	TEL 0299-79-3720 FAX 0299-79-3726
阿見消防署	〒300-0333 稲敷郡阿見町若栗3337番地	TEL 029-887-0119 FAX 029-888-0201
利根消防署	〒300-1622 北相馬郡利根町布川2073番地	TEL 0297-68-3755 FAX 0297-68-8331

